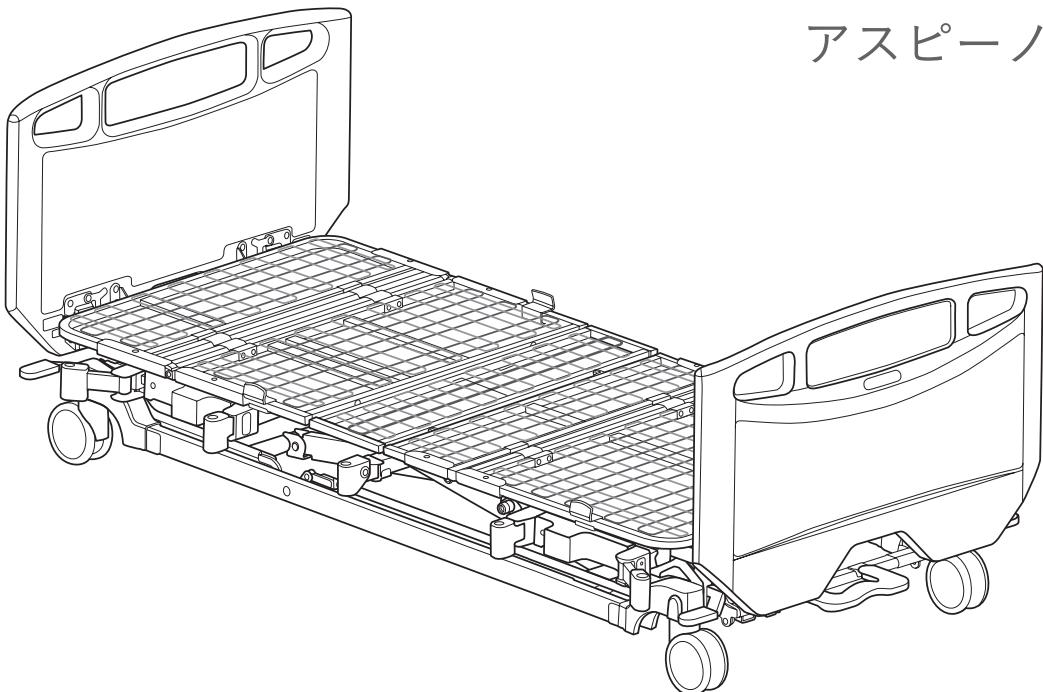


取扱説明書

— 医療施設用電動ベッド —

ASPINO

アスピーノ



3モーターベーシックベッド

(P302-3 シリーズ)

3モーターポジショニングベッド

(P302-7 シリーズ)

この度は医療施設用電動ベッド「P302 シリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、組み立て・ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

- 介助が必要な方がご使用になる場合は、介助する方も必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。
- 商品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- お買い上げの商品は、改良などにより、この取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

商品名	アスピーノ
型式	P302

株式会社 プラツリ

使用目的

このベッドは医療施設および高齢者施設で使用されることを目的として作られたベッドです。

商品の特長

	ハイバック サポート	頭頸部の角度を調節します。 (3モーター・ポジショニングベッドのみ)
	背上げ	起き上がり動作を支援します。
	ひざ上げ	リクライニング時のずれを防ぎます。また、下肢の姿勢を調整します。 ひざ上げ時につま先の「足先上げ」と「足先下げ」を選択できます。
	高さ調節	立ち上がり動作を支援します。また、介助しやすい高さにベッドを調節します。
	フィッティング 機能	ひざの屈曲位置を調節します。

- ボードは取り付け、取り外しが容易にでき、伝い歩きとキャスター・ロックペダルの足元操作を考慮したデザインです。
- フットボードの内側にサイドレール収納ホルダーがあります。
サイドレールを使用しないときは、ここに収納することができます。
- あたま、あし両側に点滴棒取り付け穴があります。点滴棒を取り付けることにより、点滴バッグなどを掛けることができます。
- サイドレールホルダーを収納でき、立ち上がりや移乗がしやすい設計です。
- ハレンバッグ用フックを取り付けることによりハレンバッグを取り付けることができます。
- ナースコールホルダーはサイドレールに取り付け可能です。
- センターロックシステムで、一度のペダル操作でキャスターの首振りと回転が4輪同時にロック／解除できます。

もくじ	ページ
●安全にご使用いただくために	3～9
●ベッドの設置について	10
●移動について	11
●開梱と部品の確認	12～14
●各部の名称	15
●ベッドの組み立てかた	
・ベースフレームとセンターフレームの組み立て	16～17
・アース線の取り付け（ベースフレーム）	18
・背ボトムの取り付け	19～20
・ひざ脚ボトムの取り付け	21
・マットレスハンガーの取り付け	21
・アース線の取り付け（ボトム）	22～23
・ヘッドボード・フットボードの取り付け	23
・手元スイッチの取り付け	24
●手元スイッチの使いかた	25
●液晶手元スイッチの使いかた	26～35
●標準手元スイッチの使いかた	36
●3モーターベッドの運動動作	37～38
●フィッティングバーの設定	39
●ベッドの分解方法	40～43
●器具のお手入れ・点検	44
●停電時の背下げ方法	45
●レールの組み合わせ	46～47
●便利な使いかた	48～49
●マットレスストッパーの取り付け・取り外しかた	50
●故障かな？と思ったら	51
●保管について・廃棄について	51
●適合周辺機器	52
●商品の仕様	53～54
●保証とアフターサービス	55

安全にご使用いただくために ※必ずお守りください。

この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、利用者や他の方への危害や財産への被害を未然に防止するために、色々な絵表示をしております。

下記をよくお読みいただき、内容をよく理解してから正しくお使いください。

⚠ 警告

この表示の欄は、「生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容」を記載しています。

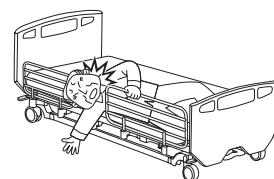
⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容」を記載しています。

⚠ 警告

- 他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないでください。

- 危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になります。

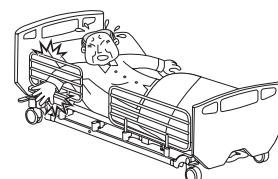


- サイドレールとベッド用グリップ、サイドレール・ベッド用グリップとボードやボトムなどとの隙間に身体の一部が入らないよう注意してください。

- 隙間にはさまれたり、怪我や事故の恐れがあります。

- 身体の一部（頭、腕、脚）をサイドレール・ベッド用グリップから出さないでください。また出した状態で、ベッドの操作をしないでください。

- 骨折など、怪我をする恐れがあります。
●別売りで安全カバーをご用意しております。



- 各部を操作する際に、フレームとボトムの間に手や指を入れないでください。

- 骨折など事故の原因になります。



- マットレスを設置しない状態でベッドを使用しないでください。

- ボトムの隙間などに手足の指などがはさまれて怪我をする恐れがあります。

- マットレスは、必ず指定のマットレスをご使用ください。(P52 参照)

- また、マットレスの上に布団などを重ねて使用しないでください。

- 怪我や事故の原因になります。

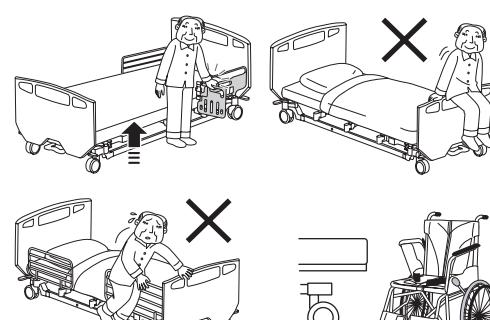
- サイドレール、ベッド用グリップなどを取り付ける際は、きちんと挿し込まれていることを確認してください。

- 挿し込み穴に異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドから転落したり意図せぬ隙間が発生して、身体の一部がはさまれて怪我をする恐れがあります。
●ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

- ベッドやベッド以外の電気機器のコード類(電源コードなど)をベッドの下に通さないでください。

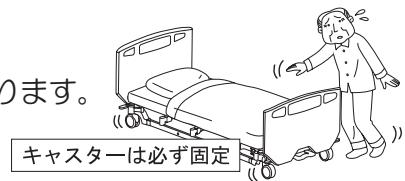
- キャスター や可動部にははさまれてコード類が破損し、感電・火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ベッドの電源は直接コンセントからとってください。
 - ・電源電圧は交流 100V でご使用ください。
 - ・指定外の電源電圧や延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発火して火災の恐れがあります。
- ヘッドボード・フットボードがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
 - ・ボードの取り付けが不完全な場合、ベッドの移動時や身体を支えるためにボードにつかまつたときなどに不意に外れ、転倒などによる怪我の恐れがあります。
- ベースフレームに足を掛けたり、足先を入れたりしないでください。
 - ・はさまれて怪我をする恐れがあります。
- ボトムの角度やベッドの高さを調節する際は、利用者の状態に注意してください。
 - ・利用者がベッドの動作中に動くと、ベッドから転落したり、隙間にはさまれて怪我をする恐れがあります。特に自分で体位を保持できない方の場合は身体を支えながら操作してください。
 - ・ベッドにはボトムの角度制限機能がはたらきますが、圧迫により怪我をする恐れがあります。
- 利用者の容態にあわせてご使用ください。
 - ・利用者の容態によってはベッドの操作で容態を悪化させる恐れがあります。
利用者あるいはご家族の方が直接操作される場合は、医師または看護する方が「取扱説明書」の内容と容態にあった使用方法について十分に説明した上で使用してください。
- 利用者から目を離す際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください。
 - ・万一のベッドからの転落に備え、状況に応じてボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。
- ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意してください。
 - ・体の一部がはさまると怪我をする恐れがあります。
- ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。
必ず下記のことを守ってご使用ください。
 - ・ベッドの横から乗り降りしてください。
 - ・サイドレールをまといだり、ヘッドボード/フットボードをまといだりしないでください。
 - ・睡眠薬を服用の際は、ベッドの乗り降りには十分にご注意ください。
 - ・車椅子への移乗の際は、ベッドのキャスターおよび車椅子の車輪がロックされているかを確認して、乗り降りしてください。
 - サイドレールの端に体重を掛けないでください。
 - ・傾いて転倒する恐れがあります。
 - ・立ち上がりに不安のある方は、「ベッド用グリップ」(P52 参照)をご利用ください。

⚠ 警告

- キャスターのロックを解除した状態で放置しないでください。
 - ・ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。
 - ・ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。

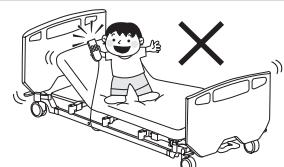


- キャスターロックペダルに乗らないでください。
 - ・転倒して怪我をしたり、ベッドが破損する恐れがあります。

- サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。
 - ・サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールの隙間から転落し、怪我をする恐れがあります。
 - ・サイドレールの上から身を乗り出して転落し、怪我をする恐れがあります。
 - ・厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
 - ・ベッドの背を上げた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できない恐れがあります。
 - ・特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

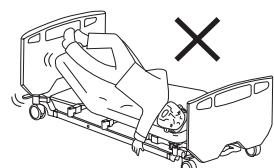
- ボトムやサイドレールホルダー、ボードなどの突起物に衣類などが絡まないように注意してください。
 - ・衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、怪我をする恐れがあります。
 - ・ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

- ベッドの上に立ったり、立った状態でベッドの操作をしないでください。
 - ・転倒などにより怪我や事故の原因になります。



- 「上がっている背やひざ脚ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為はしないでください。
 - ・怪我や事故、故障の原因になります。

- ベッドにうつ伏せて寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態でのご使用はしないでください。
 - ・怪我や事故の原因になります。



- 操作が理解できないと思われる方（お子様や認知症の方など）に操作させないでください。
 - ・操作が理解できないと思われる方が、ベッドを操作する可能性がある場合には、次の方法により誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・手元スイッチをロックしてください。（P30、P36 参照）
 - ・電源プラグを抜いてください。

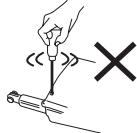
⚠ 警告

- 乳幼児やお子様には使用しないでください。

- ・本商品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません。
サイドレールなどの隙間に身体の一部がはさまれて、怪我をする恐れがあります。
- ・サイドレールを使用しても、隙間から転落して怪我をする恐れがあります。

- 分解・修理・改造はしないでください。

- ・故障や感電の原因になります。



分解禁止

- ベッドは定期的に点検してください。

- ・使用の頻度や環境により、商品は摩耗、劣化します。定期的に各部の緩み、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。
摩耗、劣化した状態で使い続けると、思わぬ怪我をする恐れがあります。

- 被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

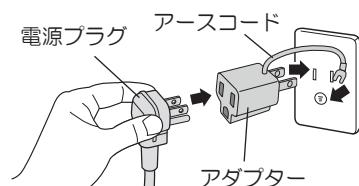
- ・地震、火災、水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社まで点検、修理を依頼してください。電気部品のショートや漏電による感電、火災の恐れがあります。

- コード類（電源コード、手元スイッチのコード、モーターのコード）を傷付けないでください。

- ・コードが破損し、感電、火災の恐れがあります。
- ・ベッドの可動部でコード類をはさんだり、コードに引っ掛けからないようご注意ください。
- ・傷んだコードは修理（交換）を依頼してください。

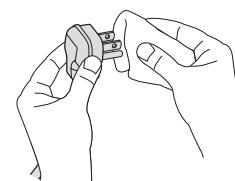
- コンセント(2P)に接続する場合は、別売りのアダプターをご使用ください。アダプターご使用時はアースを確実に付けてください。

- ・アースが接続されていないと、漏電した場合に感電する恐れがあります。



- 電源プラグは定期的に掃除をしてください。

- ・電源プラグの表面にホコリが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより感電、火災の恐れがあります。
- ・電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



- 電源プラグを抜く時はプラグ部を持って抜いてください。

- ・断線・接触不良により、故障や火災の原因になります。



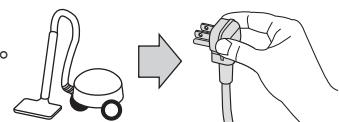
- 電源プラグは濡れた手で触らないでください。

- ・感電する恐れがあります。



- 掃除・点検などでベッド下に入る場合は電源プラグを抜いてください。

- ・誤操作によりベッドにはまれ怪我をする恐れがあります。



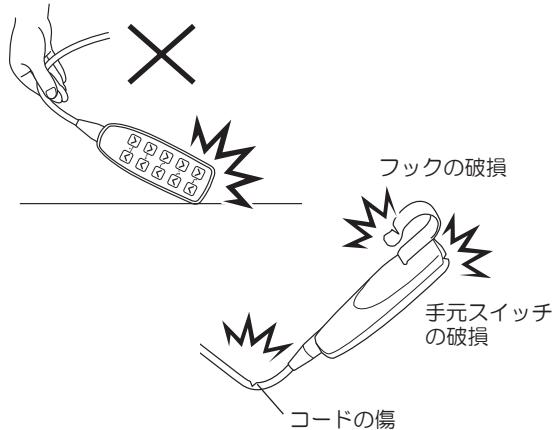
⚠ 警告

- ベッドを水洗いしたり、モーター や手元スイッチに水などをこぼさないでください。
 - ・ショートなどにより感電、火災の恐れがあります。
 - ・誤って水などをこぼしてしまった場合、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社までご連絡ください。



- 手元スイッチの取り扱いに注意してください。

- ・ベッドが誤作動して怪我をしたり、ショートなどにより、感電、火災の恐れがあります。
また、故障の原因になります。
- ・ぶつけたり傷付けないでください。
- ・落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。
- ・傷んだ手元スイッチなどは修理（交換）を依頼してください。
- ・手元スイッチを使用しないときは、不用意にボタンを操作しないようにサイドレールやベッド用グリップの外側などに掛けてください。



- 治療中の方やペースメーカーをご使用の方は医師に相談してください。

- ・ベッドの操作が、症状を悪化させる危険性があります。
- ・医師、看護師の指導に従ってください。
- ・背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させることができます。

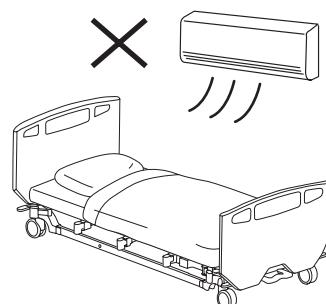


- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を使用するときは電源プラグを抜いてください。

- ・電子治療器を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤作動の原因になります。
- ・なお、他のME機器と併用する場合は、安全をご確認の上ご使用ください。

⚠ 注意

- ヘッドボードやフットボードに荷重を掛け、リハビリなどをおこなわないでください。
 - ・ 破損の原因になります。
- このベッドは1人用のベッドです。ベッドを2人以上で使用しないでください。
 - ・ リハビリをおこなう際、勢いをつけ過度に荷重を掛けたりしないでください。
- モーターの長時間連続使用（2分以上）はしないでください。
 - ・ 加熱により、温度ヒューズがはたらき動かなくなります。
 - ・ 動かなくなったら販売店にお問い合わせください。この場合は修理費が発生します。
- ボードやサイドレールなどに抑制帯を取り付けないでください。
 - ・ 不意に外れて怪我をしたり、ボードやサイドレールなどが破損、変形する恐れがあります。
- ボトムなどに抑制帯を取り付けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。
 - ・ 利用者の身体が締め付けられて怪我をしたり、ベッドが破損、変形する恐れがあります。
 - ・ 利用者や介助者の方などが手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次の方法により誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・ 手元スイッチをロックする（P30、P36 参照）、電源プラグを抜く。
- 本体に貼ってあるシールは剥がさないでください。
 - ・ お客様を危険から守るためのものや故障時に素早い対応をするためのものです。
 - ・ ロット番号から詳細な仕様が分かり、的確な対応が可能になります。
- 下記の使用環境を守ってください。
 - ・ 使用周囲温度：5°C～40°C
 - ・ 相対湿度：20%～90%（結露無きこと）
 - ・ 気圧：700hPa～1060hPa
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ 直射日光のある場所
 - ・ 冷暖房による冷気や暖気が直接あたる場所
 - ・ 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
 - ・ 高温、多湿、低温、乾燥した場所
 - ・ ホコリ、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ 振動や衝撃のある場所
 - ・ 床が水平でない場所
 - ・ 床が丈夫でない場所

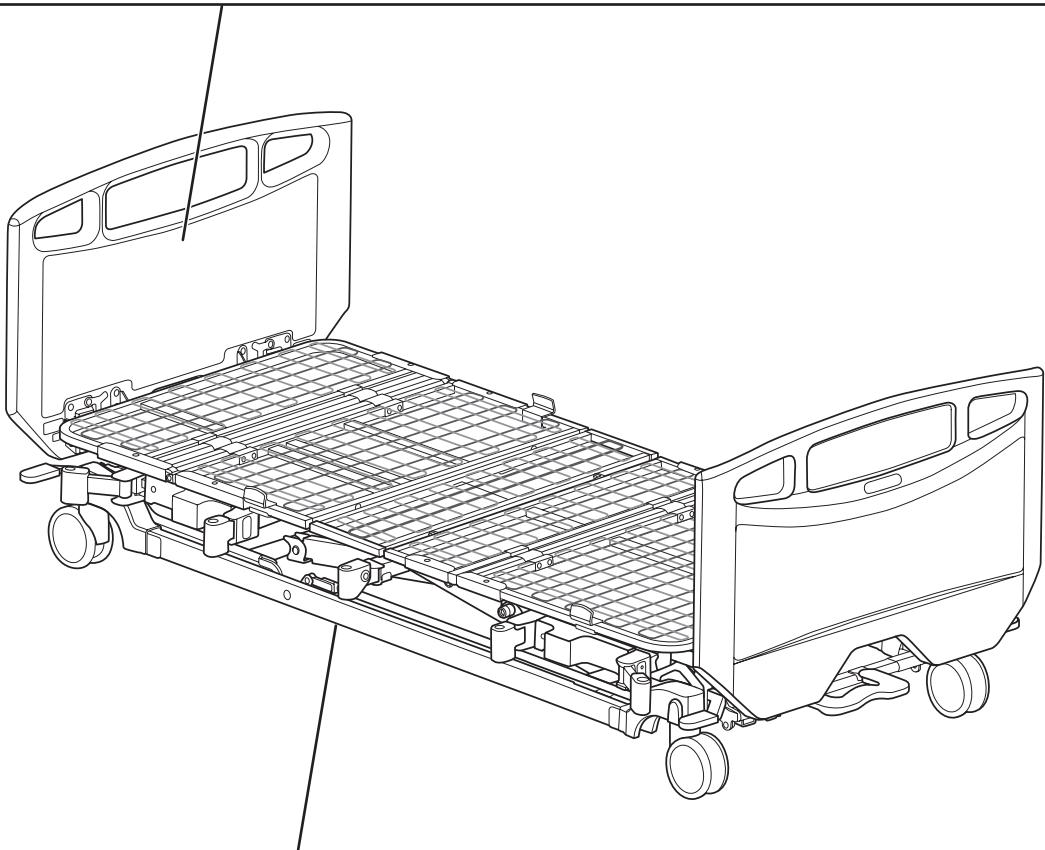


⚠ 注意

下記のシール類は特に注意していただきたい項目を記載しています。
剥がしたり傷付けたりしないでください。

⚠ 最大利用者体重	⚠ 安全動作荷重	使用上の注意	⚠ 警告
= 138Kg	= 174Kg (1700N)	<ul style="list-style-type: none">頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、ひざ上げ操作をしないでください。また、各部を操作する時は、手指をはさまないように注意してください。ベッドの下に障害物がないことを確認してから操作してください。	<ul style="list-style-type: none">取扱説明書に記載のサイドレール、ベッド用グリップ及びマットレスを使用してください。記載以外のサイドレール、ベッド用グリップ及びマットレスを使用されると、危険な隙間が発生し、重傷死亡事故の原因となる恐れがあります。

株式会社プラツツ



警告

- ベッドの下に入ったり、物を置いたりしないでください。
- ベッドの下を掃除する際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- 取扱説明書に記載のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレス、ヘッドボード及びフットボードを使用してください。

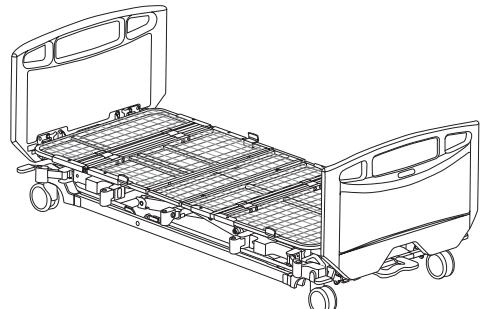
ベッドの設置について

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店もしくは弊社指定の業者にお任せください。

必ず丈夫で水平な床に設置してください。

ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の総重量に十分耐えられる水平な場所へ設置してください。

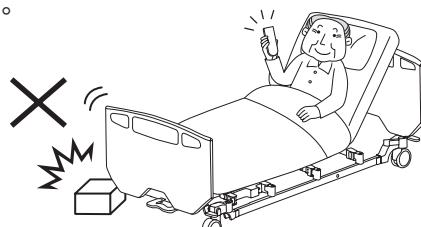
※最大利用者体重：138kg



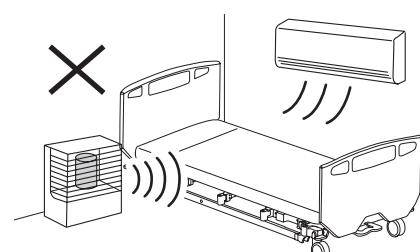
おねがい

- ベッドの周りは広い空間を確保してください。
療養される方のベッドからの移乗や介助する場合の
スペースを十分検討して設置してください。
- 電源コンセントの位置から10cm程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。

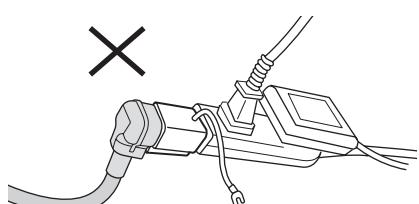
- ベッドの下に物を置かないでください。
昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾く
ことがあります。危険です。



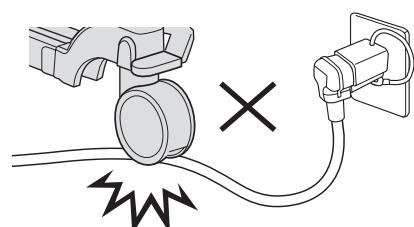
- ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないでください。
機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



- 配線器具の定格を超える「たこ足配線」や表示された電圧(100～240V)以外の電圧では使用しないでください。
火災やモーター故障の原因になります。



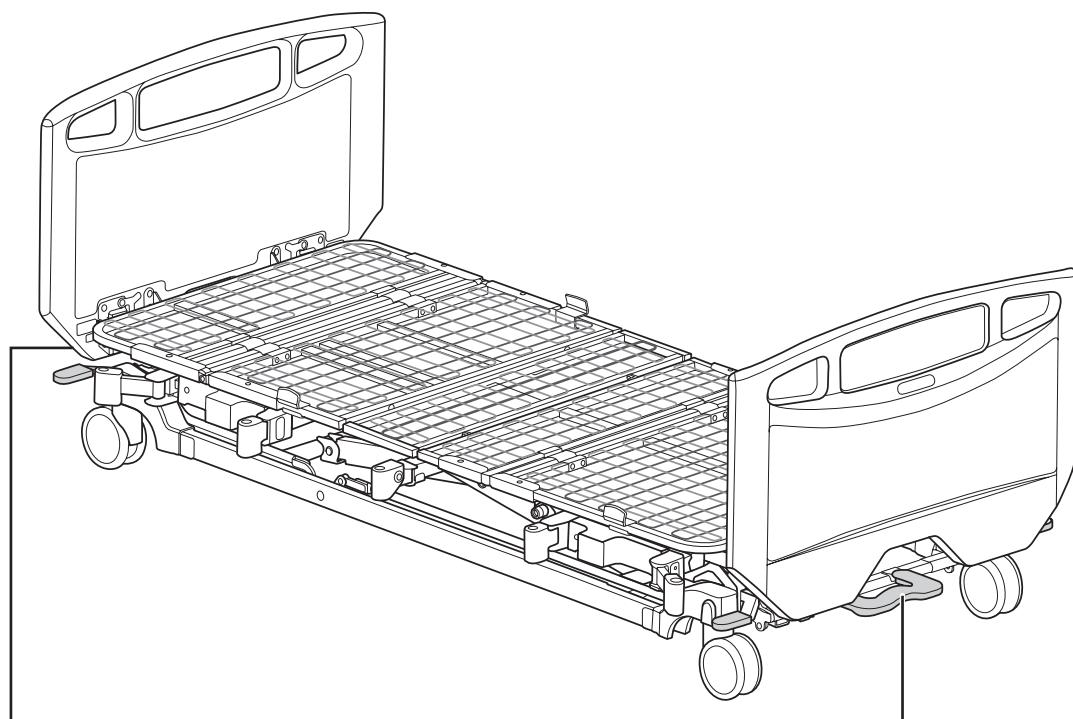
- 電源コードや手元スイッチのコードなどを引っ張ったり、はさまないようにしてください。
断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



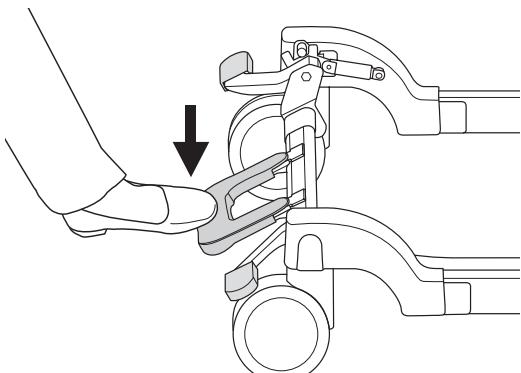
- ベッドの周りのものや、部屋の構造物に当たらないように注意してください。
ベッドの動作（特に高さ調節）によって、ベッドやベッド周りのもの、構造物が破損する恐れがあります。

移動について

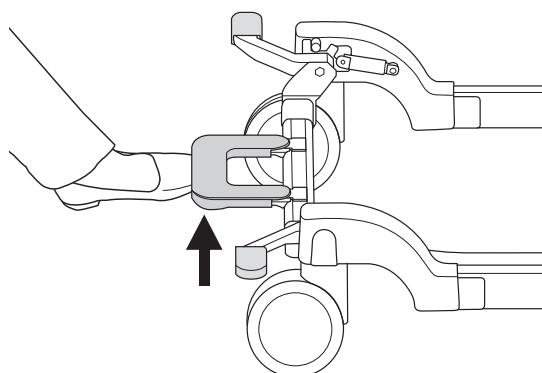
- 移動する場合は必ず、キャスター ロックペダルを足先で上げてロックが解除されていることを確認してください。
- ベッド設置後は必ず、キャスター ロックペダルをしっかりと踏み込んでロックしてください。
- キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので絶対におこなわないでください。
- ベッド移動時以外は、必ずキャスターをロックしてください。
- ベッドを移動するときは、足元に注意してください。
キャスター ロックペダルに足をぶつけたり、怪我をする恐れがあります。
- 利用者を搬送する際は、サイドレールを取り付けてください。
利用者がベッドから転落するなど、怪我をする恐れがあります。



キャスターのロック



ロックの解除

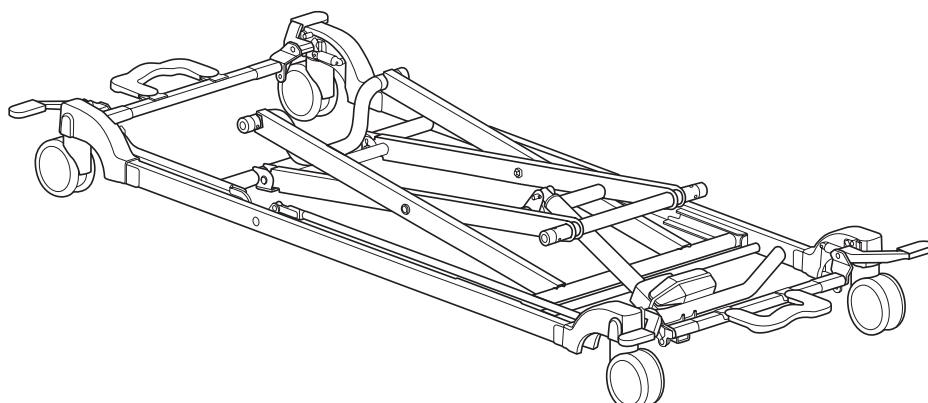


開梱と部品の確認

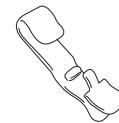
商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、
また、破損していないか確認してください。

万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

ベースフレーム
センターロック仕様
梱包 (1/4)



取扱説明書のご案内
<保証書付>

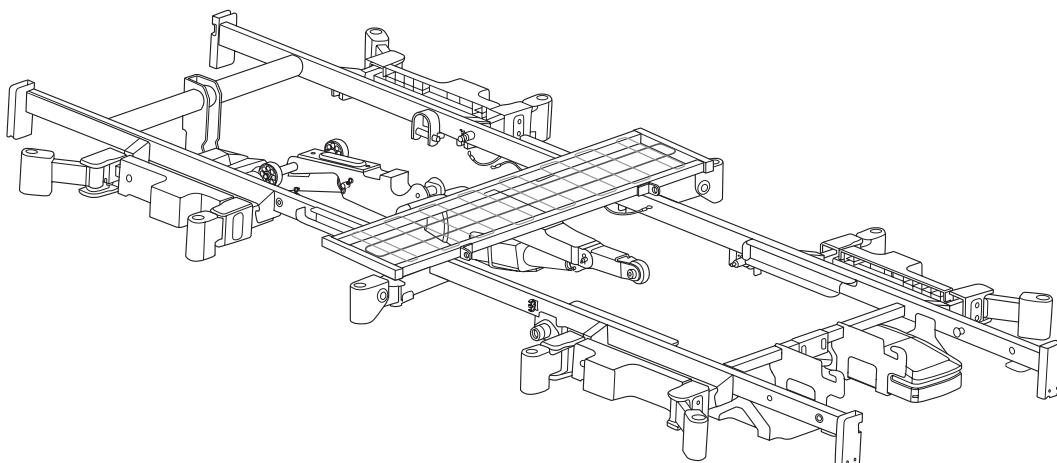


ナースコールホルダー



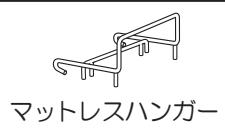
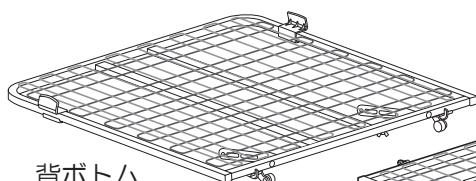
ハレンバッグ用フック

センターフレーム
3モーターベッド共通
梱包 (2/4)



開梱と部品の確認

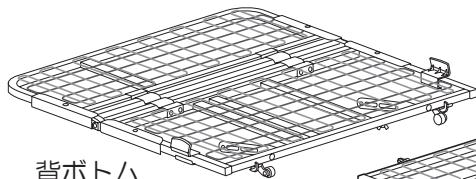
ボトムセット
ベーシックベッド共通
梱包 (3/4)



背ボトム

ひざ脚ボトム

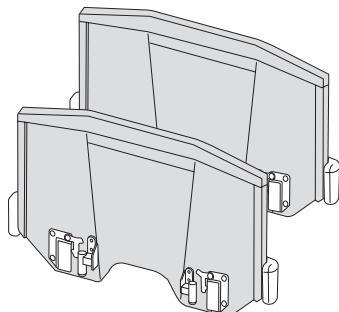
ボトムセット
ポジショニングベッド共通
梱包 (3/4)



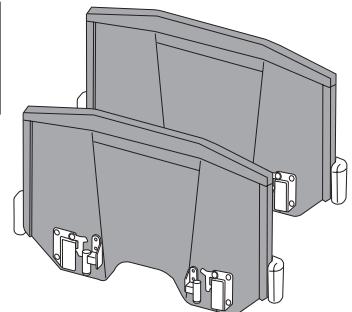
背ボトム

ひざ脚ボトム

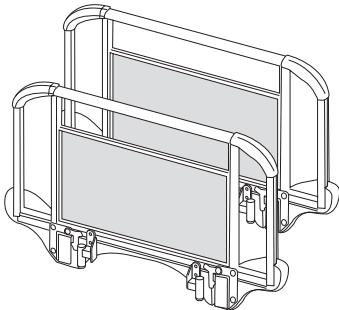
木製ボード
<ナチュラルブラウン>
梱包 (4/4)



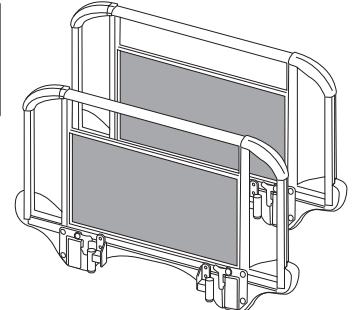
木製ボード
<ダークブラウン>
梱包 (4/4)



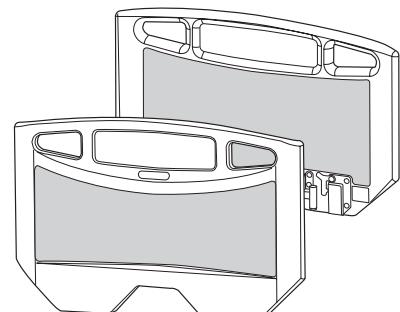
スチール製ボード
<ナチュラルブラウン>
梱包 (4/4)



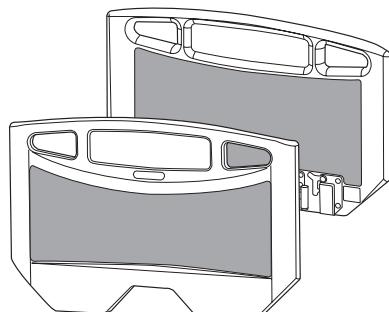
スチール製ボード
<ダークブラウン>
梱包 (4/4)



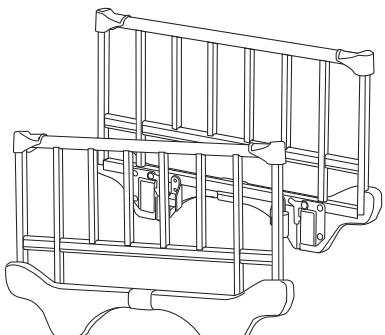
樹脂ボード
<ナチュラルブラウン>
梱包 (4/4)



樹脂ボード
<ダークブラウン>
梱包 (4/4)



整形外科用ボード
梱包 (4/4)



液晶手元スイッチ

3モーター
ベーシックベッド

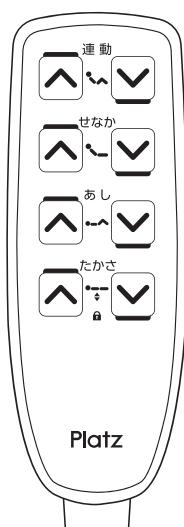


3モーター
ポジショニングベッド

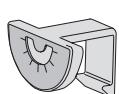
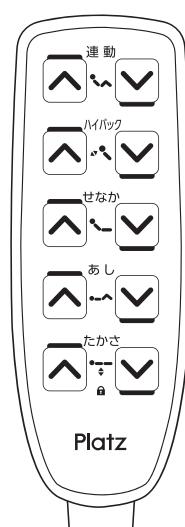


標準手元スイッチ

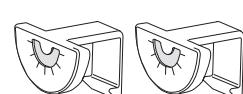
3モーター
ベーシックベッド



3モーター
ポジショニングベッド



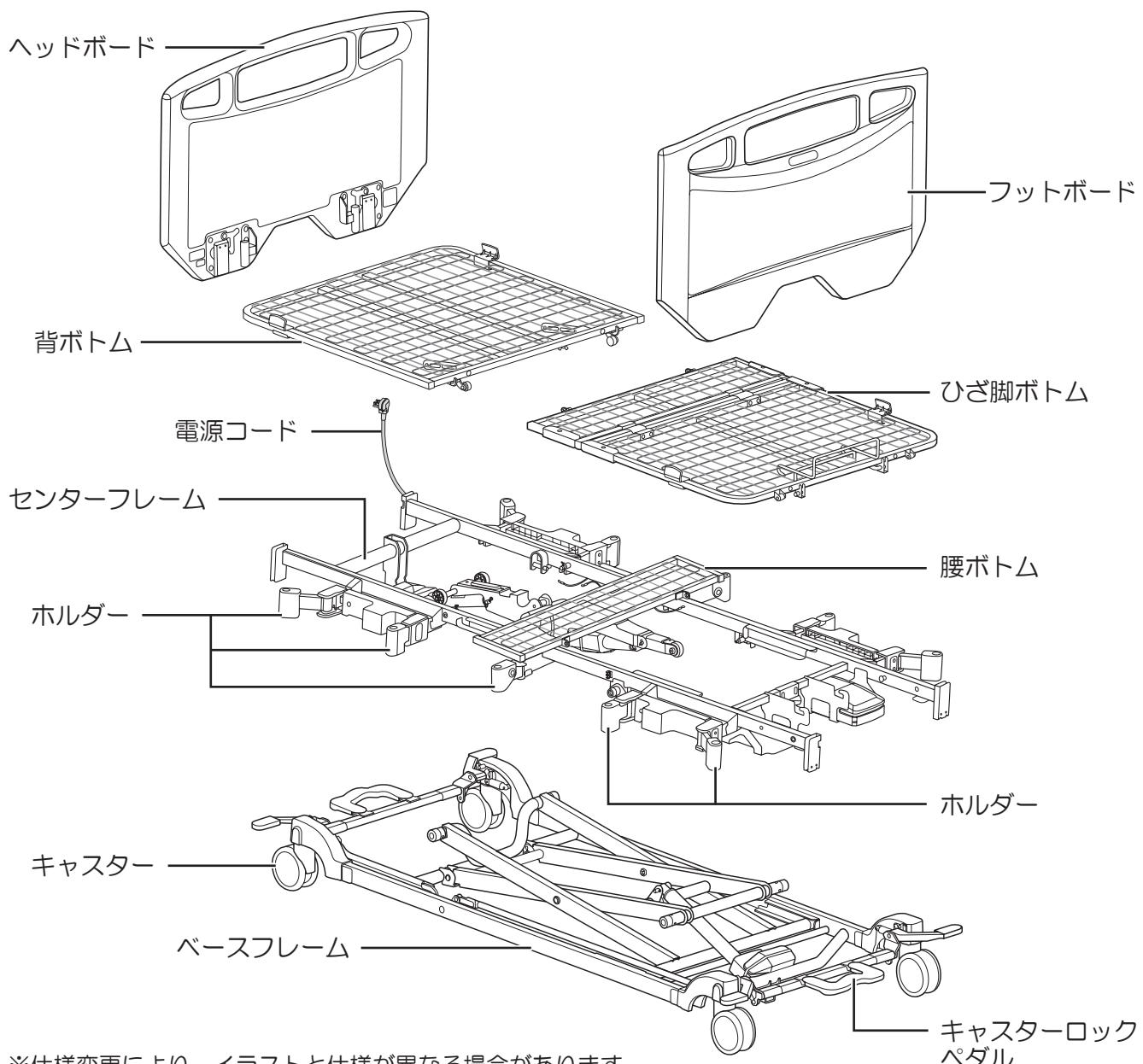
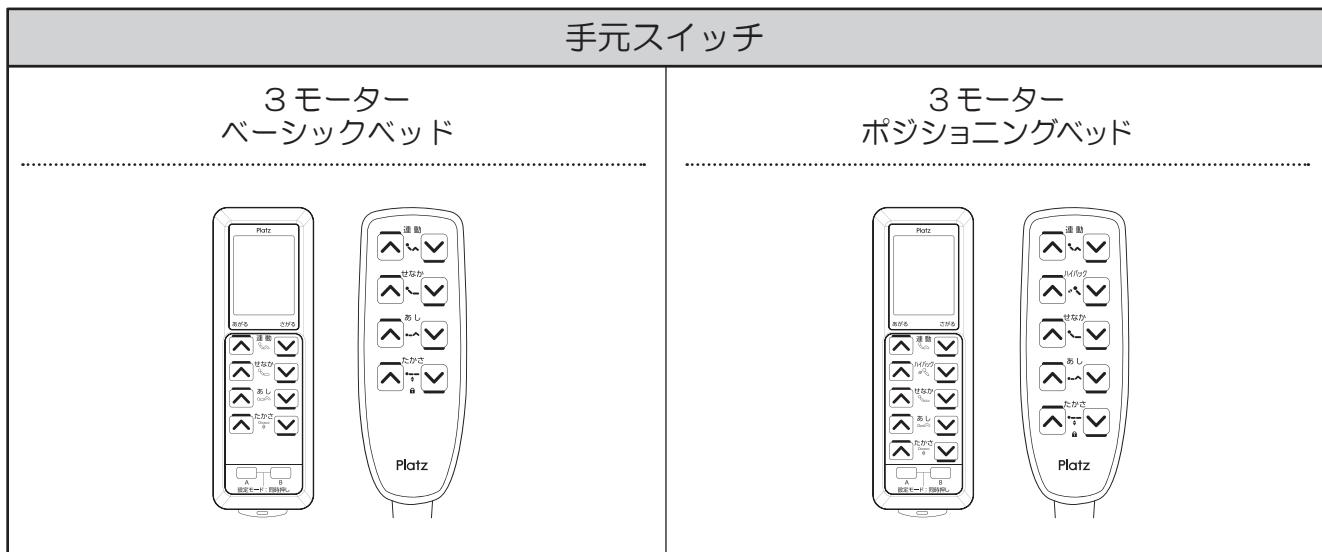
角度計



角度計

*ベッドのフレームとは、別梱包になっています。

各部の名称



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります。

ベッドの組み立てかた

⚠ 注意

組み立ての際に、手や指をはさまないようにご注意ください。

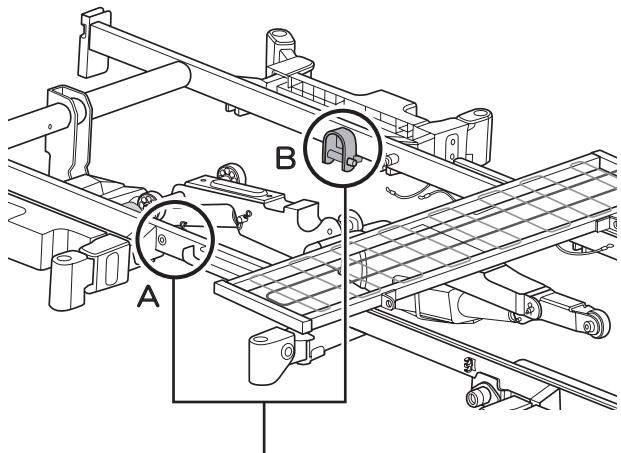
ベースフレームとセンターフレームの組み立て

1-1

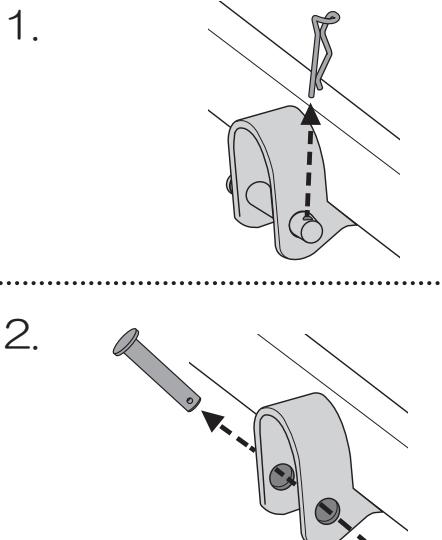
- ・ベースフレーム
- ・センターフレーム

センターフレームをベースフレームに取り付けます。

- ① センターフレーム "A" "B" のピンと曲げ割りピンを取り外します。



ピンと曲げ割りピンを取り外します。

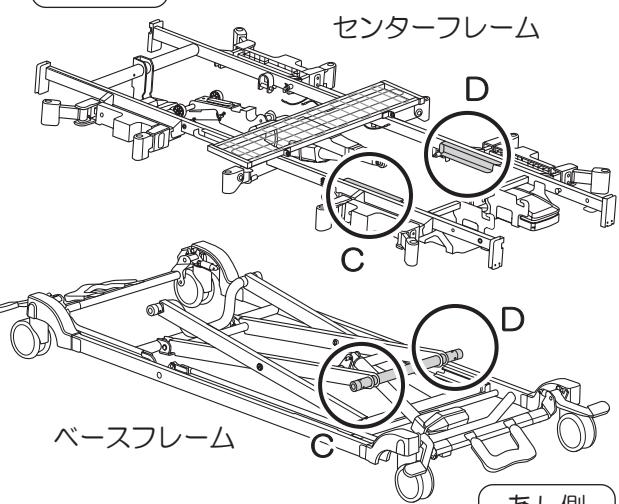


確認

ベースフレームのキャスターをロックしてから組み立ててください。

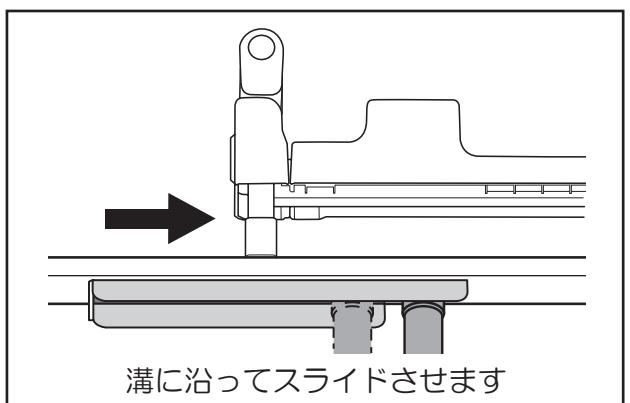
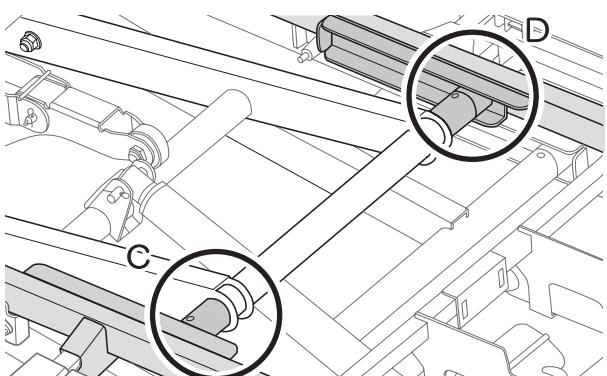
- ② ベースフレーム "C" "D" 先端部分をセンターフレームの溝部分に挿し込みます。

あたま側



あし側

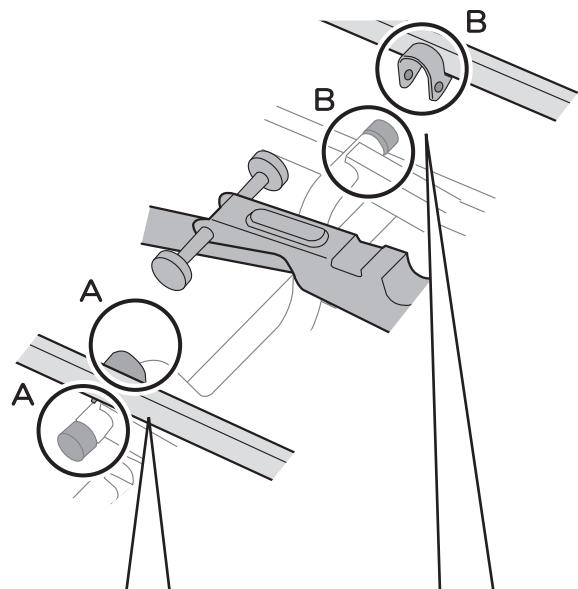
- ③ 先端部分を溝に沿ってスライドさせます。



ベッドの組み立てかた

ベースフレームとセンターフレームの組み立て

- ④ ①で取り外した“A”“B”のピンと曲げ割りピンを取り付けます。



1. センターフレーム
2. ベースフレーム
ピンと曲げ割りピンで取り付けます。
3. 反対側からピンの穴に曲げ割りピンを挿し込んで取り付けます。

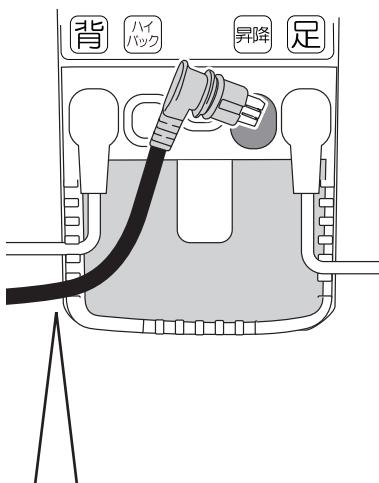


しっかり取り付けられているか確認してください。

1-2

- ベースフレーム
- センターフレーム

昇降モーターのプラグを電源部にしっかりと挿し込んでください。
プラグを挿し込み、コード部分はシールを参照して取り付け、切り欠き部分にはめ込んでください。



コード部分を切り欠き部分にはめ込んで、しっかりふたを閉じてください。

- 1.
- 2.

※3 モーター定位ベッドは、電源部のふたを閉めずに組み立てを続けてください。

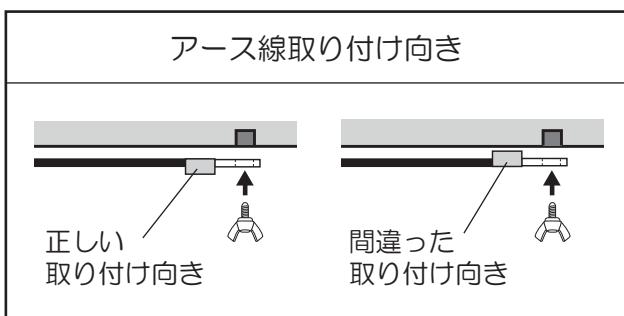
ベッドの組み立てかた

アース線の取り付け

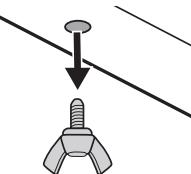
1-3

- ・ベースフレーム
- ・センターフレーム

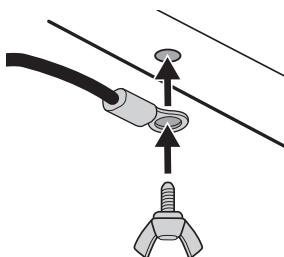
センターフレームに取り付けられているアース線をベースフレームに取り付けます。アース線の取り付け向きにご注意ください。



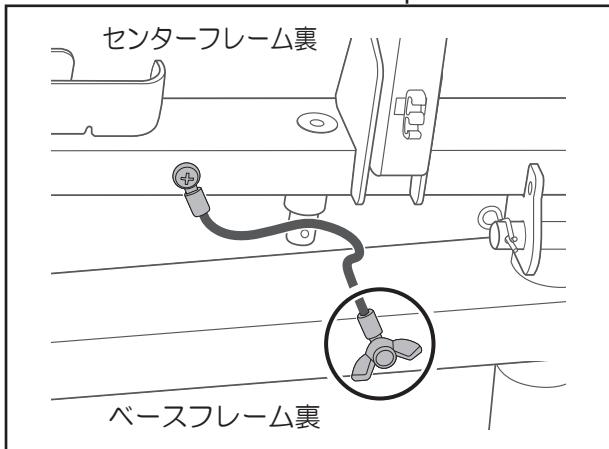
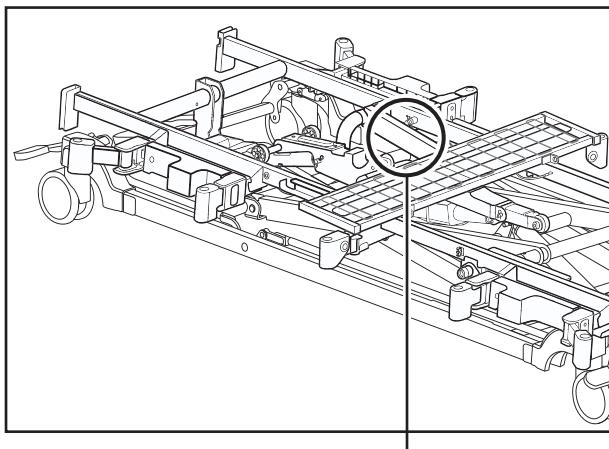
- ① ベースフレームに取り付けてあるネジを取り外します。



- ② アース線をネジ止めします。



●アース線取り付け位置



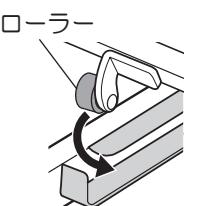
背ボトムの取り付け

2-1

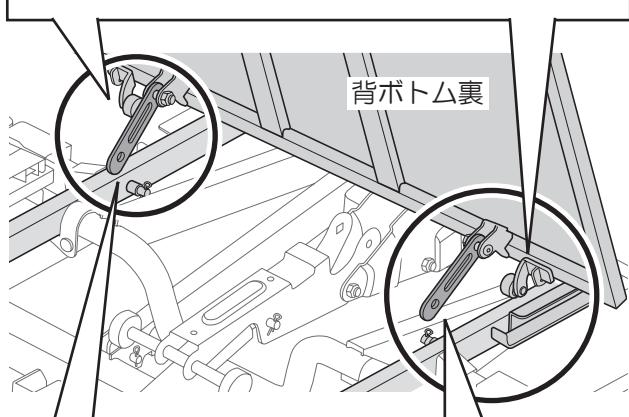
- ・背ボトム
- ・センターフレーム

センターフレームに背ボトムを取り付けます。

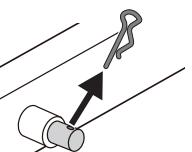
1. 背ボトムのローラーを、センターフレームのローラーガイドに上から入れます。



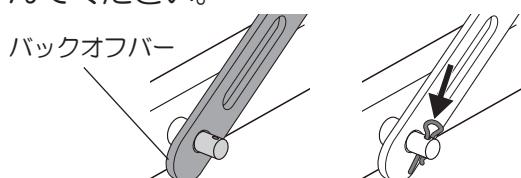
2. 背ボトムを傾けて、ローラーをローラーガイドの内側に入れください。



3. 曲げ割りピンを抜いてください。



4. バックオフバーを挿し込みます。
“3”で外した曲げ割りピンを挿し込んでください。



確認

背ボトムがしっかりと取り付けられているか確認してください。

3モーターベーシックベッドは、
21ページの「ひざ脚ボトムの取り付け」へ進んでください。



※3モーター定位ベッドのみ、ハイバック用モーターコードの取り回しが必要です。

ハイバック用モーターコードの取り回し（ポジショニングベッドのみ）

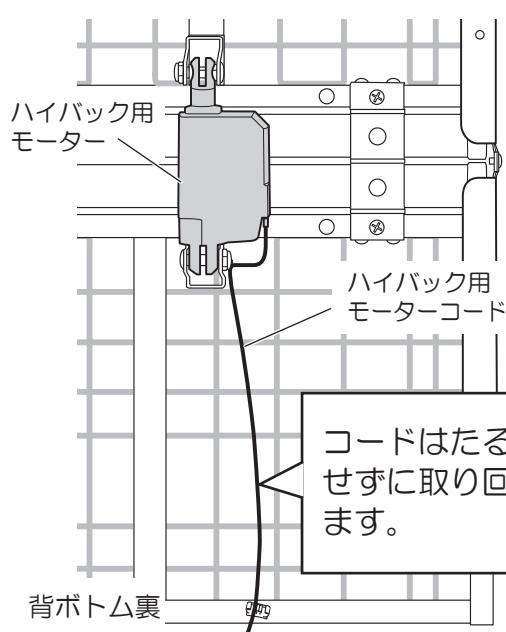
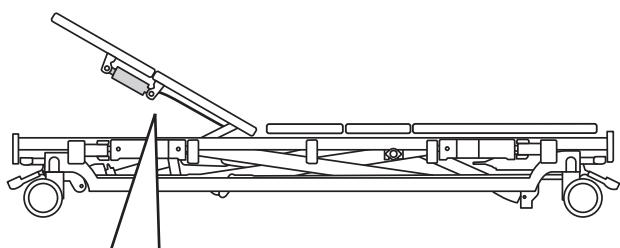
2-2

- ・背ボトム
- ・センターフレーム

背ボトム裏のハイバック用モーターコードを、コードクリップに取り付けます。

あたま側

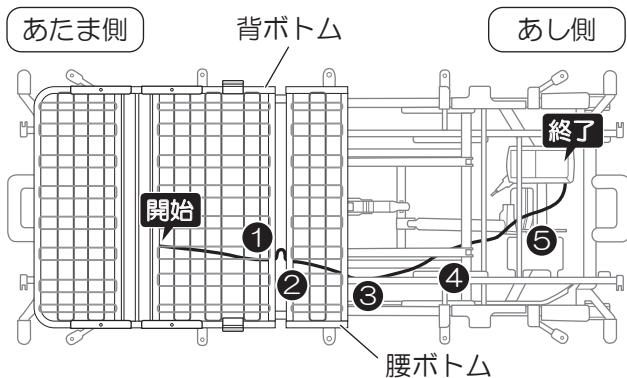
あし側



ベッドの組み立てかた

ハイバック用モーターコードの取り回し ※ポジショニングベッドのみ

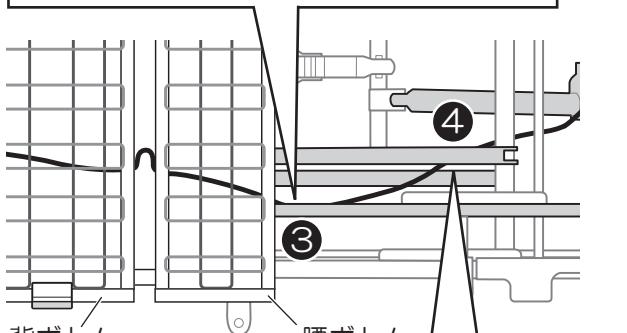
①→②→③→④→⑤の順に、ハイバック用モーターコードを取り回してください。



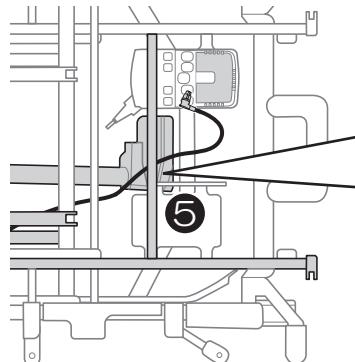
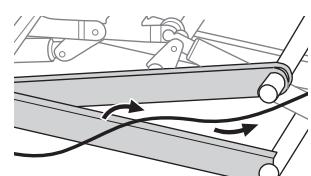
背ボトム裏側のコードクリップに、コードを取り付けます。



フレーム裏側のコードクリップに、コードを取り付けます。

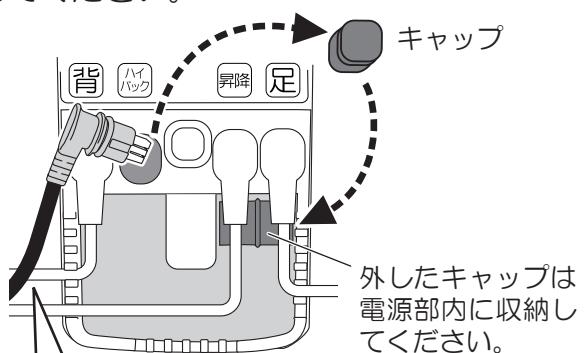


X形状のフレームの間に、コードを通します。



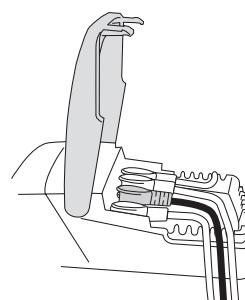
フレームと
モーターの間を
通します。

・電源部の「ハイバック」に挿し込まれているキャップを外し、ハイバック用モーターコードのプラグを電源部にしっかりと挿し込んでください。
プラグを挿し込み、コード部分はシールを参照して取り付け、切り欠き部分にはめ込んでください。

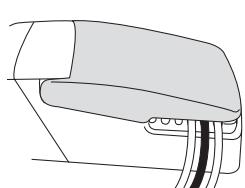


コード部分を切り欠き部分にはめ込んで、
しっかりふたを閉じてください。

1.



2.



ひざ脚ボトムの取り付け

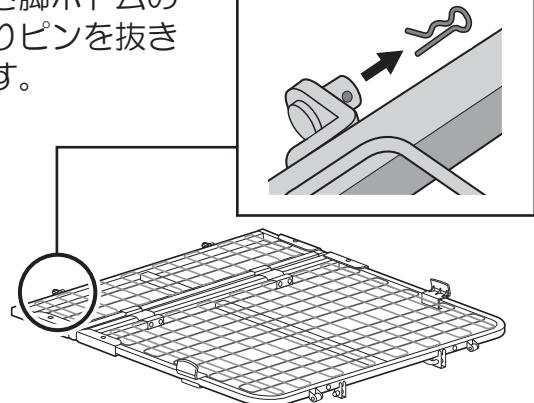
2-3

- ・ひざ脚ボトム
- ・センターフレーム

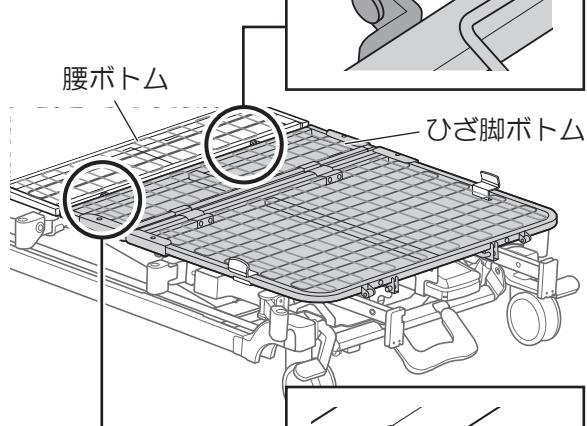
センターフレームにひざ脚ボトムを取り付けます。

※指をはさまないようにご注意ください。

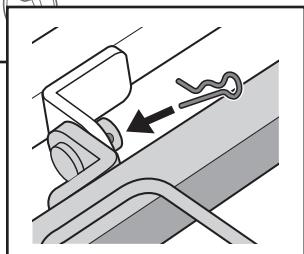
- ① ひざ脚ボトムの割りピンを抜きます。



- ② ひざ脚ボトムのピンを、腰ボトムの穴に挿し込みます。



- ③ ①で抜いた割りピンを挿し込みます。



確認

ひざ脚ボトムがしっかりと取り付けられているか確認してください。

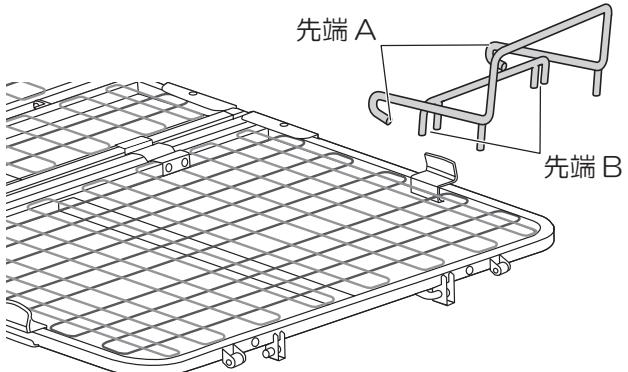
マットレスハンガーの取り付け

2-4

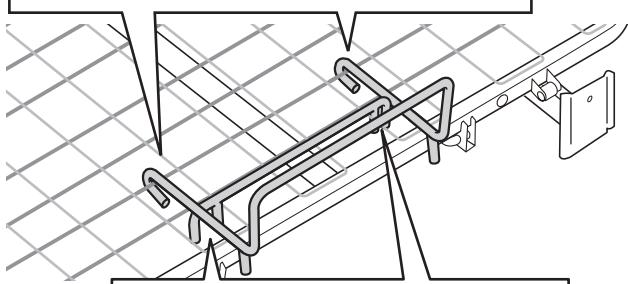
- ・ひざ脚ボトム
- ・マットレスハンガー

ひざ脚ボトムにマットレスハンガーを取り付けます。

マットレスハンガー

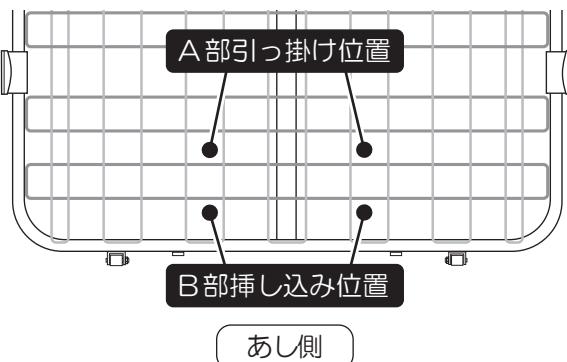


- ① 下図位置にマットレスハンガー先端A部を引っ掛けます。



- ② 先端B部を挿し込みます。

- マットレスハンガーの取り付け位置
※必ず下図の位置に取り付けてください。



確認

ひざ脚ボトム、マットレスハンガーガーがしっかりと取り付けられているか確認してください。

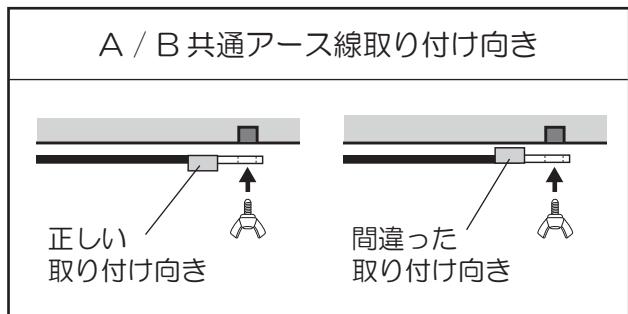
ベッドの組み立てかた

アース線の取り付け

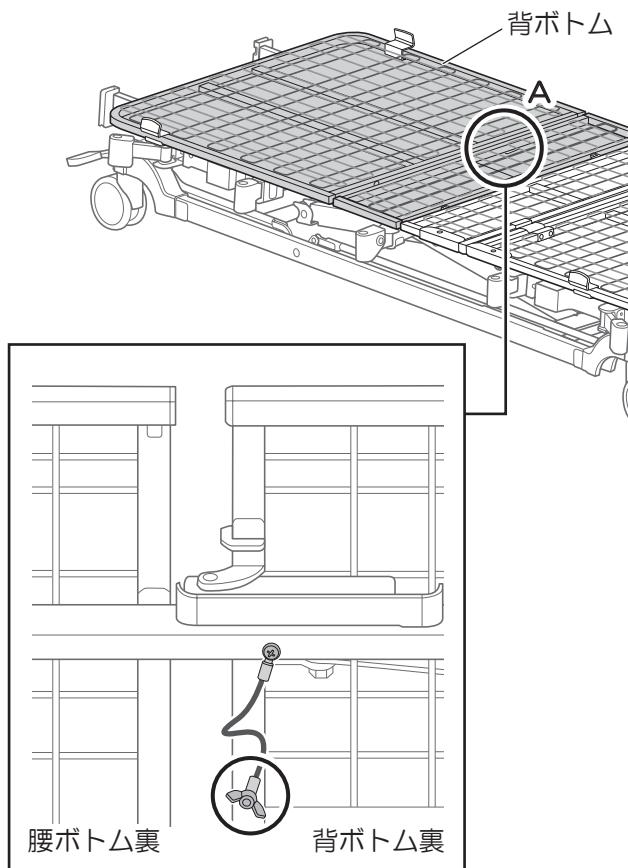
2-5

- ・背ボトム
- ・ひざ脚ボトム
- ・センターフレーム

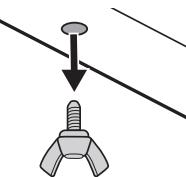
アース線を背ボトム "A" とひざ脚ボトム "B" 各裏側に取り付けます。アース線の取り付け向きにご注意ください。



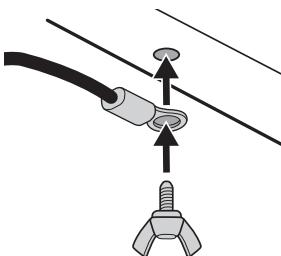
•アース線取り付け位置 A



- ① 背ボトムに取り付けてあるネジを外します。



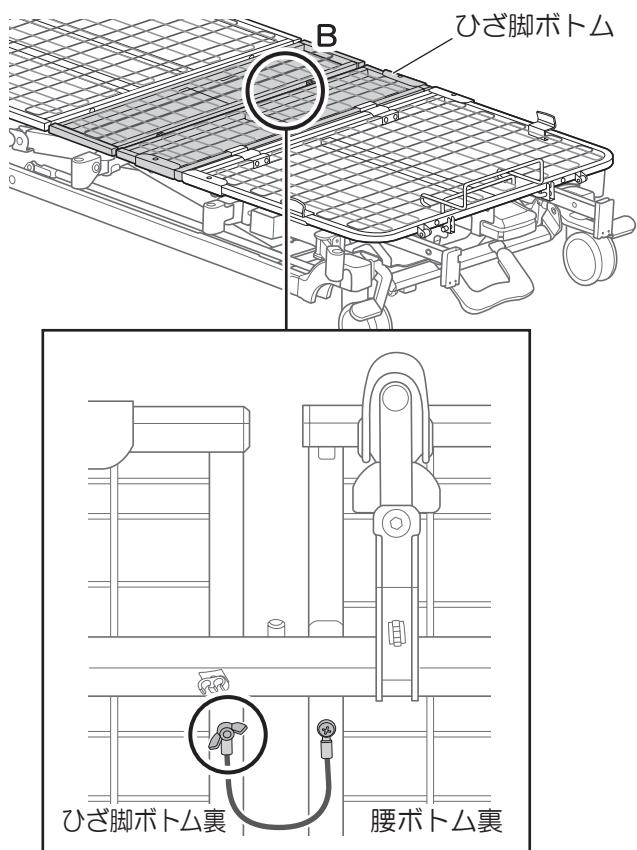
- ② アース線をネジ止めします。



確認

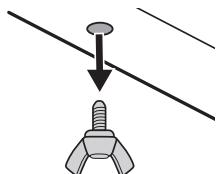
背ボトムを動かし、アース線が引っ張られていないことを確認してください。

•アース線取り付け位置 B

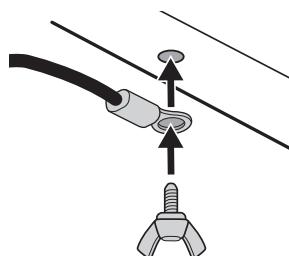


アース線の取り付け

- ① ひざ脚ボトムに取り付けてあるネジを外します。



- ② アース線をネジ止めします。



確認

ひざ脚ボトムを動かし、アース線が引っ張られていないことを確認してください。

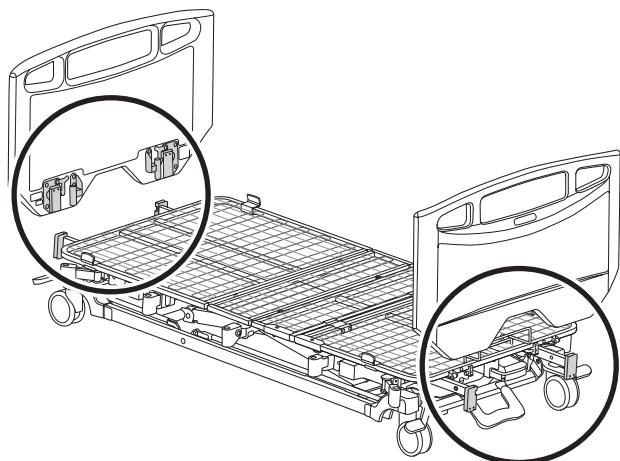
全機種共通

ヘッドボード・フットボードの取り付け

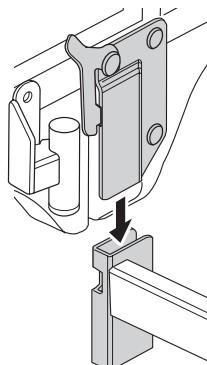
3

- ・ヘッドボード
- ・フットボード

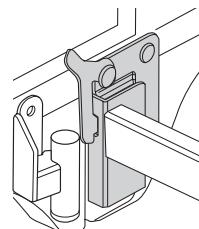
ヘッドボード、フットボードを取り付けます。



- ① センターフレームの取付金具に真上から挿し込みます。



- ② 反対側も同じように取り付けてください。



ベッドの組み立てかた

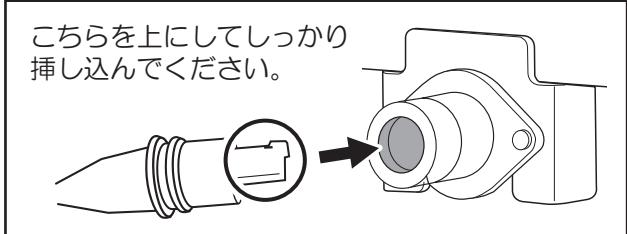
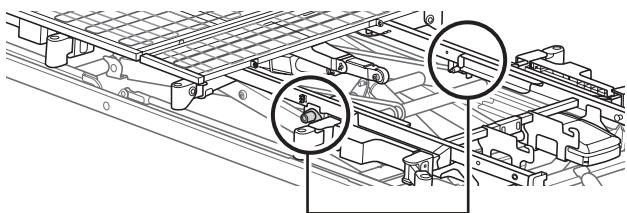
全機種共通

手元スイッチの取り付け

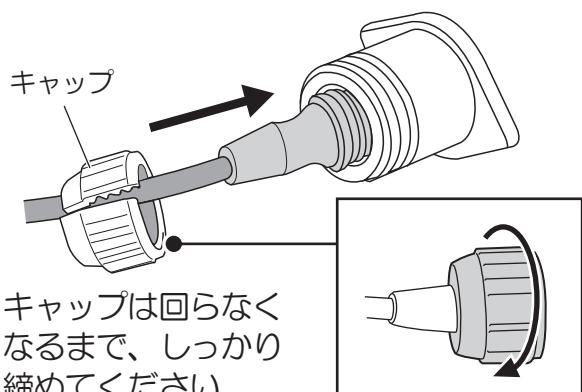
4

- ・センターフレーム
- ・手元スイッチ

- ① 手元スイッチ挿し込み口に手元スイッチのプラグを取り付けます。しっかり挿し込んで取り付けてください。
手元スイッチ挿し込み口は、センターフレームの左右2箇所にあります。



- ② 手元スイッチに付属しているキャップを挿し込み口に取り付けます。



- ③ キャップは回らなくなるまで、しっかり締めてください。

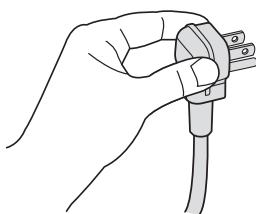
△ 注意

センターフレームの左右2箇所の挿し込み口に手元スイッチを2つ同時に接続した場合に2つの手元スイッチで同時にボタン操作しないでください。

- ・意図しない動作をする恐れがあります。

5

- 電源コードのプラグをコンセントに挿し込んでください。



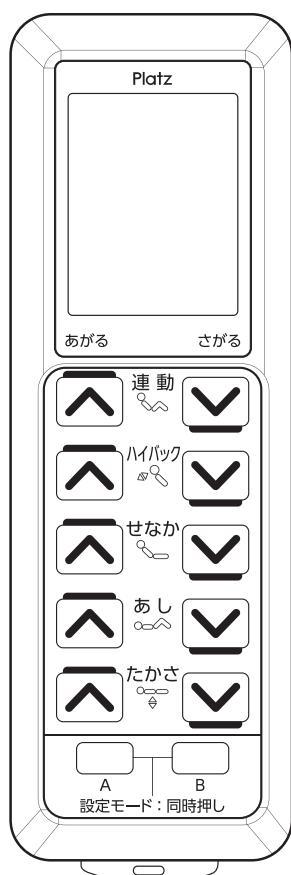
手元スイッチの使いかた



注意

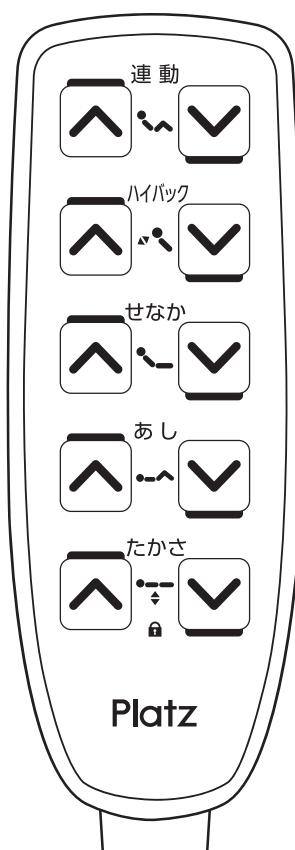
- ベッドには、適合する手元スイッチを取り付けてください。
適合しない手元スイッチを取り付けると、不意に動作して怪我をしたり、故障したりする原因となります。
- 手元スイッチを取り付ける際は、ベッドの電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
電源プラグを抜かずにベッドに挿し込むと、意図せぬエラーが発生する場合があります。
- センターフレームの左右 2箇所の挿し込み口に手元スイッチを 2つ同時に接続した場合に 2つの手元スイッチで同時にボタン操作しないでください。
意図しない動作をする恐れがあります。
- ベッドを一定の期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
誤操作による事故の恐れがあります。

液晶手元スイッチ



- 液晶手元スイッチの使いかたは、
26～35 ページを参照してください。

標準手元スイッチ



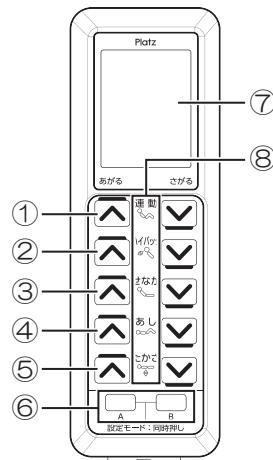
- 標準手元スイッチの使いかたは、
36 ページを参照してください。

※イラストは、3モーター・ポジショニングベッドの手元スイッチです。

液晶手元スイッチの使いかた

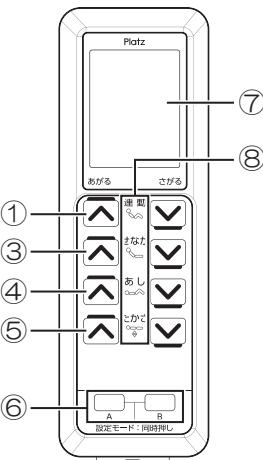
1. 各部の名称と働き

3モーター
ポジショニングベッド



PR11-7DZ

3モーター
ベーシックベッド



PR11-3DZ

操作ボタン

- 動作させたい部位を上げる場合は **▲** ボタン、下げる場合は **▼** ボタンを押し続けることでベッドを操作します。

①運動ボタン

「運動モード」と「メモリーモード」の設定により、設定された動作をおこないます。
※詳細は、33～35ページを参照してください。

②ハイバックボタン

背上部の角度を約 20° まで調節できます。

③せなかボタン

背ボトムの角度を約 73° まで調節できます。

④あしボタン

ひざボトムの角度を約 40° まで調節できます。

⑤たかさボタン

床面高さを 29～68cm まで調節できます。

⑥設定ボタン

設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。

※詳細は、29 ページを参照してください。

⑦液晶表示パネル

動作中のベッドの角度や高さを表示します。また、エラーが発生した場合には、エラー表示がされます。

※詳細は、27～28 ページを参照してください。

⑧表示ランプ

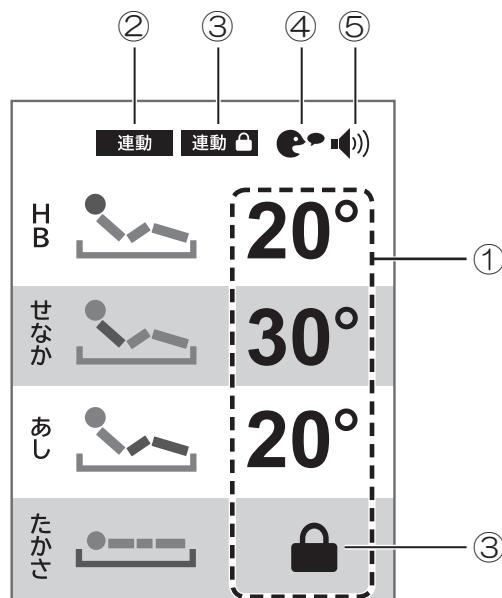
操作可能なボタンの LED ランプが点灯します。

注意

- 30秒間操作がないと手元スイッチの電源が「OFF」となります。
いずれかの操作ボタンを押すと電源が「ON」となります。

2. 液晶表示パネルについて

(※例として、3モーターポジショニングベッドの場合を記載しています。)



①角度 / 高さ表示

ベッドのボトムの角度や高さ位置を表示します。

②連動モード / メモリーモード表示

連動モード時には「**連動**」、メモリーモード時には「**メモリー**」と表示されます。
出荷時には連動モードで設定されています。

③操作ロック表示

操作ロックされているベッドの動作機能に「**LOCK**」が表示されています。

④音声表示

操作時の音声の「ON/OFF」を表示します。
「ON」のときは「**スピーカー**」が表示され、「OFF」のときは表示されません。
出荷時には「ON」で設定されています。

⑤操作音表示

操作音の「ON/OFF」を表示します。
「ON」のときは「**スピーカー**」が表示され、「OFF」のときは表示されません。
出荷時には「ON」で設定されています。

液晶手元スイッチの使いかた

3. エラー表示

ベッド使用時に異常を検出した場合、下のようなエラー表示が表示されます。

以下に記載した処置や、51 ページに記載の処置で解消されない場合は修理をご依頼ください。

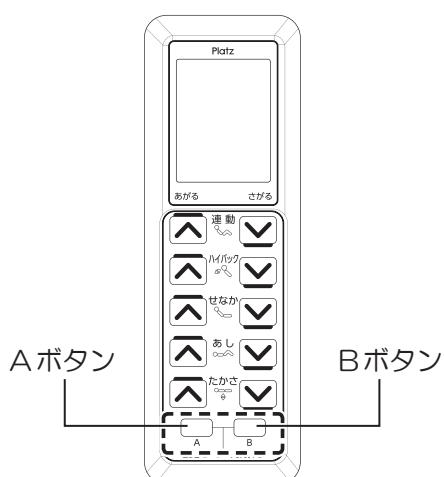
エラー コード	エラー発生原因	処 置
EO1	モーターコードの挿し込みが不十分、または断線している	①モーターコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②モーターコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。
EO2	手元スイッチからの動作信号が電源ボックス側でうまく受け取れない	①手元スイッチコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ②手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。 ①②の確認でエラー表示が解消されない場合は、手元スイッチを交換してください。
EO3	電源ボックス内部の部品の破損により、正常に動作しない	電源ボックスを交換してください。
EO4	モーターを過熱から保護する機能がはたらいている	20 分から 1 時間程度そのままにしておいてください。
EO5	角度や高さの検出エラー	表示ランプの LED が点灯しているモーターを最後まで下げてください。
EO6	EO1 から EO5 に含まれないエラーが発生した	販売店または、弊社までご連絡ください。
【その他】 液晶表示パネルが表示されない		①電源プラグをコンセントに挿し込んでください。 ②手元スイッチコードをしっかりと奥まで挿し込んでください。 ③電源コードと手元スイッチコードに損傷などがないかを確認して、損傷がある場合には交換してください。

4. 設定モードへの切り替え

設定モードへ切り替えて、各種設定の変更ができます。

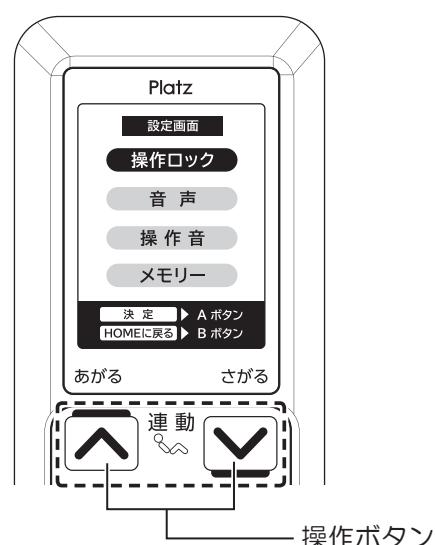
(※例として、3モーター・ポジショニングベッドの場合を記載しています。)

①



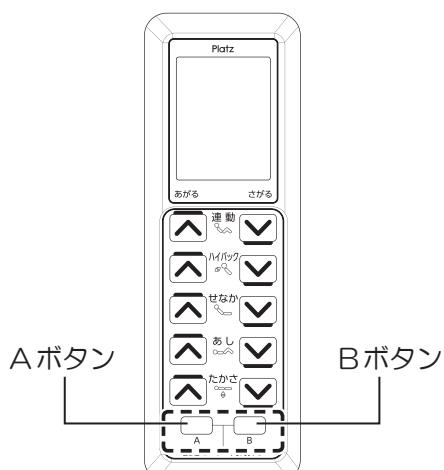
①「A」と「B」のボタンを、同時に2秒間長押ししてください。

②



②手元スイッチの最上段の操作ボタン 、
 を押すことで、表示画面の選択項目を移動できます。

③



③決定の際には「A」ボタン、元の画面に戻る際には「B」ボタンを押してください。

液晶手元スイッチの使いかた

操作ロックの設定

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

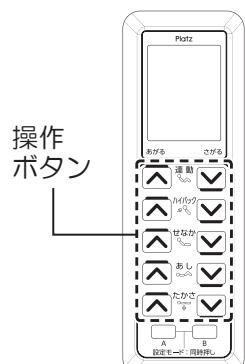
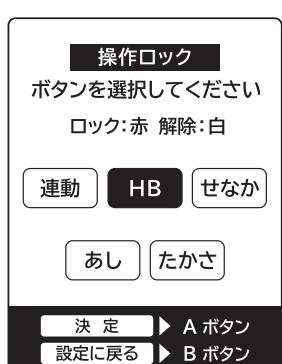
〈設定方法〉（※例として、3モーター定位ショーニングベッドの場合を記載しています。）

①



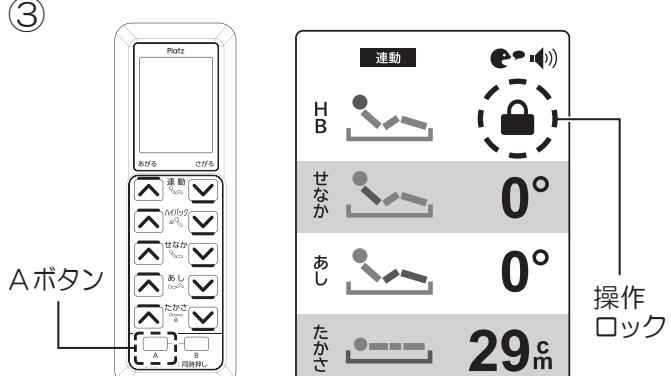
① 設定モードにて **操作ロック** を選択した状態で、「A」ボタンを押してください。

②



② 操作ロックしたい、または操作ロックを解除したい操作ボタン **▲**、**▼** を押してください。
操作ロックしたい機能が赤い表示に切り替わります。

③



③ 操作ロックの選択が終了後、
「A」ボタンを押してください。
操作ロックした機能の表示ランプが消え、表示画面に「**LOCK**」が表示されます。

※「HB」を操作ロックした際の
表示画面



確認

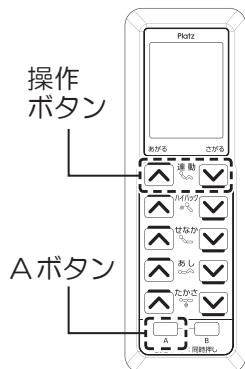
- 操作ロックされたボタンの表示ランプは設定完了後、消灯します。
- HB、せなか、あしのいずれかのボタンを操作ロックした場合でも、「運動」ボタンによるベッドの運動動作時はロックされた機能も動作します。
- 運動ボタンを操作ロックした場合でも、操作ロックしていないHB、せなか、あしのいずれかのボタンによるベッドの操作は可能です。

音声の設定

音声案内の「有 / 無」を切り替えることができます。

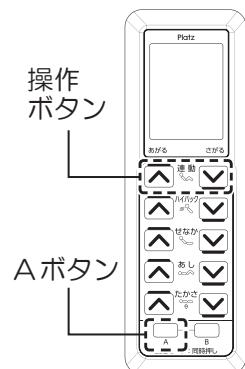
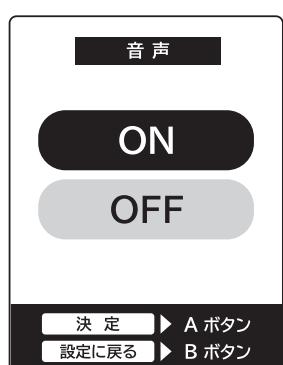
＜設定方法＞（※例として、3モーター・ポジショニングベッドの場合を記載しています。）

①



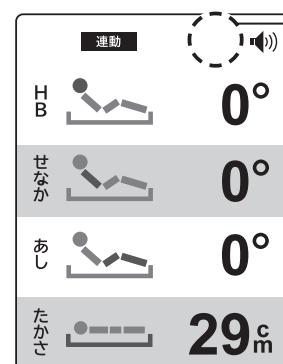
① 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
▲、▼を押して表示画面の選択
項目を移動させ、「**音 声**」を選
択した状態で、「A」ボタンを押して
ください。

②



② 音声設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
▲、▼を押して表示画面の選択
項目を移動させ **ON** または
OFF を選択した状態で「A」ボ
タンを押してください。

③



音声 OFF

③ 音声「OFF」とした場合、表示画面
の「」が消えます。

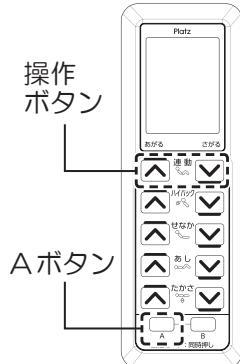
液晶手元スイッチの使いかた

操作音の設定

操作音の「有 / 無」を切り替えることができます。

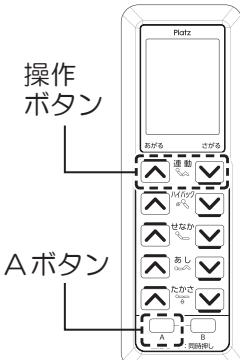
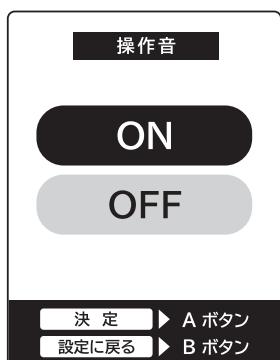
＜設定方法＞（※例として、3モーター定位ショーニングベッドの場合を記載しています。）

①



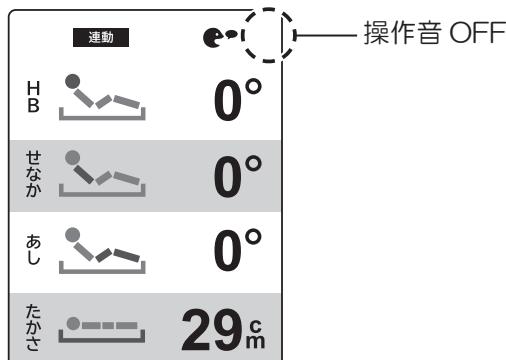
① 設定モードにて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
▲、▼を押して表示画面の選択
項目を移動させ、**操作 音** を選
択した状態で、「A」ボタンを押して
ください。

②



② 操作音設定画面にて
手元スイッチの最上段の操作ボタン
▲、▼を押して表示画面の選択
項目を移動させ **ON** または
OFF を選択した状態で「A」ボ
タンを押してください。

③



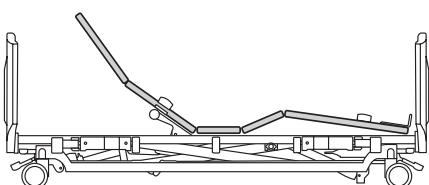
③ 操作音「OFF」とした場合、表示画
面の「」が消えます。

メモリーの設定

登録したベッドポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。

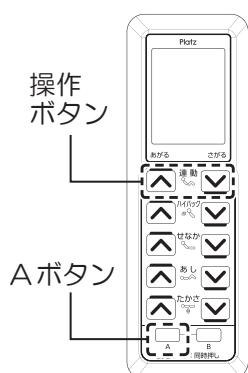
＜設定方法＞（※例として、3モーター式ショーニングベッドの場合を記載しています。）

①



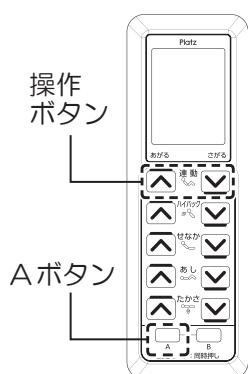
① ベッドの角度を調節し、登録したいベッドポジションまで動作させてください。

②



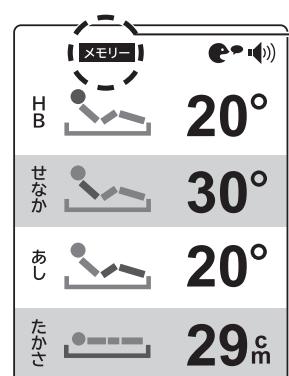
② 設定モードにて手元スイッチの最上段の操作ボタン 、 を押して表示画面の選択項目を移動させ、「メモリー」を選択した状態で、「A」ボタンを押してください。

③



③ メモリー設定画面にて手元スイッチの最上段の操作ボタン 、 を押して表示画面の選択項目を移動させ「設定する」を選択した状態で「A」ボタンを押してください。

④



メモリーモード

④ 「上記①」で設定したメモリーポジションの登録が完了し、連動モードから「メモリーモード」に設定が切り替わります。

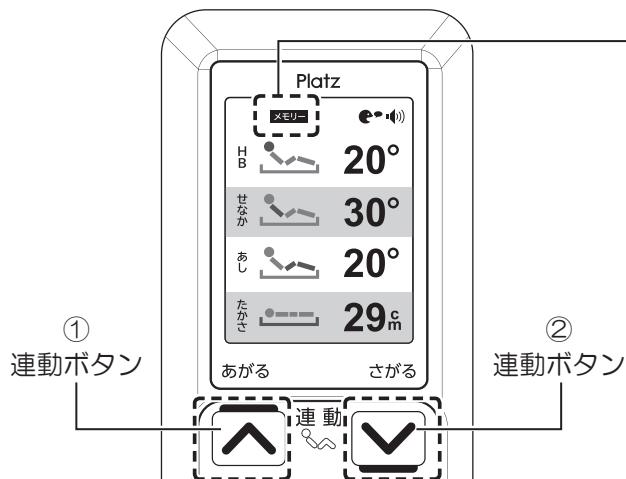
△ 確認

高さ位置の登録はできません。

液晶手元スイッチの使いかた

メモリーモード時の連動動作

登録したポジションに向けて、ベッドのボトム角度を調節します。

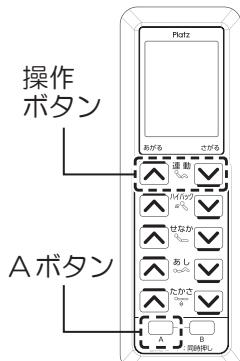


メモリーモード時は **メモリー** が表示されています。

- ① 連動ボタンの **▲** を押し続けることで、あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて動作します。
- ② 連動ボタンの **▼** を押し続けることで、すべてのボトムの角度を一斉に下ることができます。

メモリーの解除

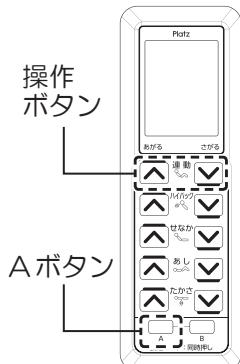
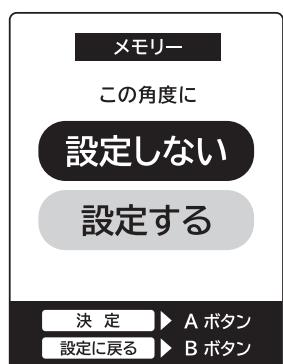
①



① 設定モードにて

手元スイッチの最上段の操作ボタン **▲**、**▼** を押して表示画面の選択項目を移動させ、**メモリー** を選択した状態で、「A」ボタンを押してください。

②



② メモリー設定画面にて

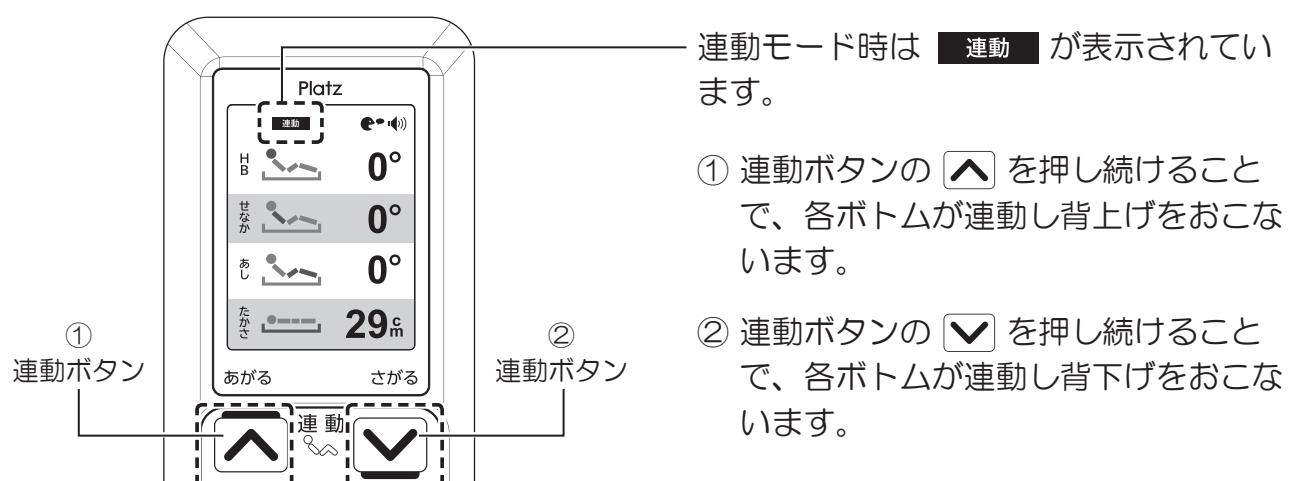
手元スイッチの最上段の操作ボタン **▲**、**▼** を押して表示画面の選択項目を移動させ **設定しない** を選択した状態で「A」ボタンを押してください。

③



③ メモリー モードから「連動 モード」に設定が切り替わります。
同時に登録されていたメモリー ポジションが解除されます。

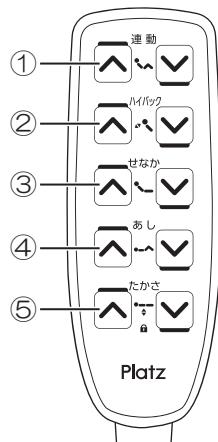
連動モード時の連動動作



標準手元スイッチの使いかた

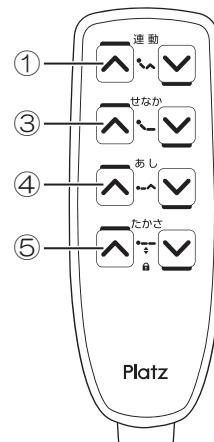
各部の名称と働き

3モーター
ポジショニングベッド



PR21-7NZ

3モーター
ベーシックベッド



PR21-3NZ

①連動ボタン

各駆動部が連動して動作します。

②ハイバックボタン

背上部の角度を約 20°まで調節できます。

③せなかボタン

背ボトムの角度を約 73°まで調節できます。

④あしボタン

ひざボトムの角度を約 40°まで調節できます。

⑤たかさボタン

床面高さを 29 ~ 68 cmまで調節できます。

●ロック / 解除操作

「たかさボタン」を2つ同時押し(3秒)で手元スイッチ操作をロックできます。ロックを解除する場合も、「たかさボタン」を2つ同時押し(3秒)してください。



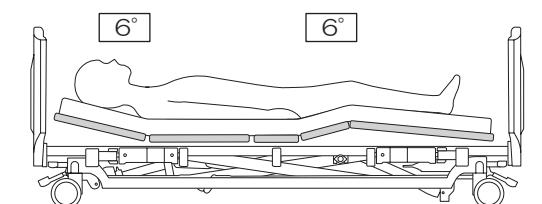
3モーターべッドの運動動作

※3モーターベーシックベッド、3モーター・ポジショニングベッドのみ

●運動背上げ動作

運動ボタンの を押し続けることで動作します。

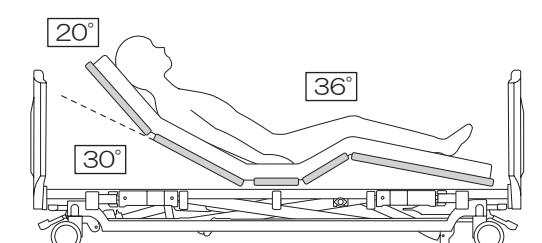
①



① ひざが上がり始める。

※ポジショニングベッドの場合は
ハイバックも上がり始める。

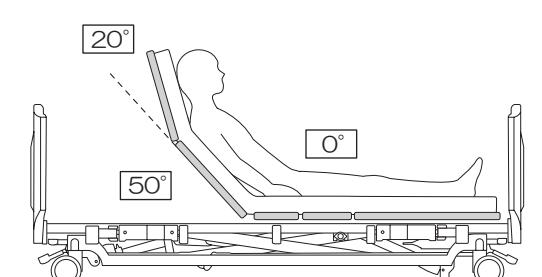
②



② 背が上がり始める。

ひざは 36° まで上がる。

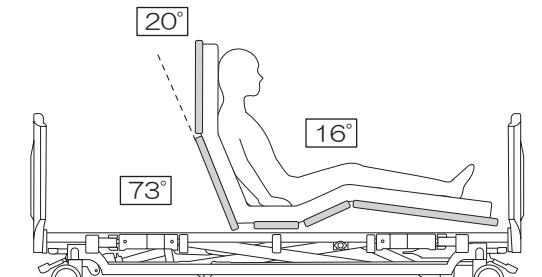
③



③ ひざが下がり始める。

背が 50°、ひざが 0° になると
ブザー音が鳴り一時停止する。

④



④ 運動ボタン を押し続けるか

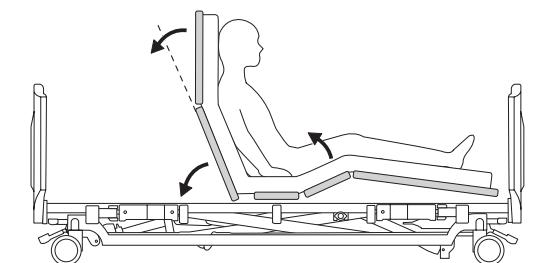
押し直すことで、さらに背膝が上がり
始め、背が 73°、ひざが 16° になる。

3 モーターべッドの連動動作

● 連動背下がり動作

連動ボタンの を押し続けることで動作します。

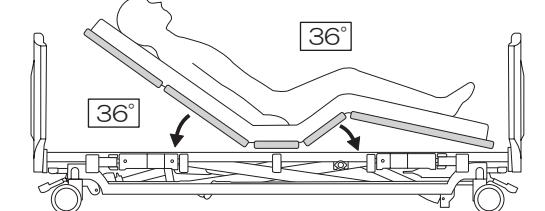
①



① 背が下がり始めると同時にひざが上がり始める。

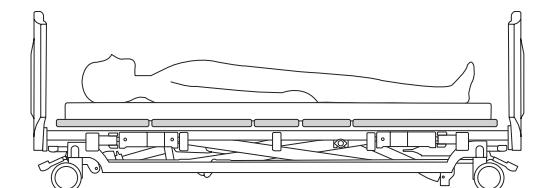
※ポジショニングベッドの場合はハイバックが下がり始める。

②



② ひざは 36° まで上がると一旦停止し
背が 36° まで下がると、ひざが下がり始める。

③



③ すべてのボトムが水平になる。

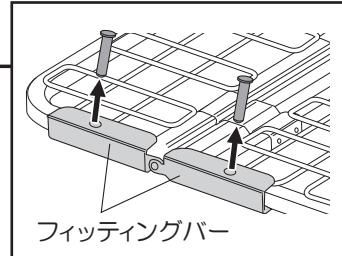
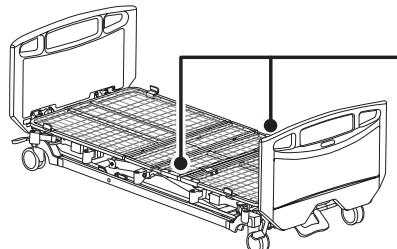
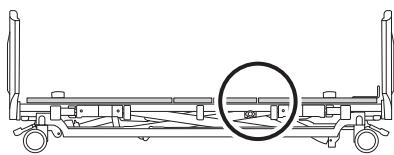
フィッティングバーの設定

フィッティングの目的

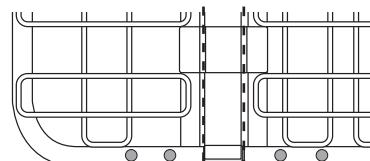
利用者のひざの位置に合わせて、脚ボトムの屈曲位置を2段階に調節することができるため、ベッド上でのズレを軽減します。

フィッティングバーの調節方法

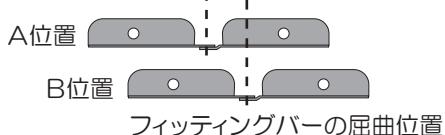
- ①両側のフィッティングバーのピン
それぞれ2本を上に外します。



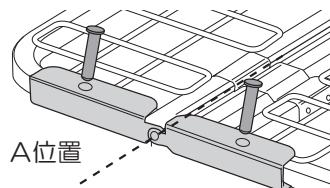
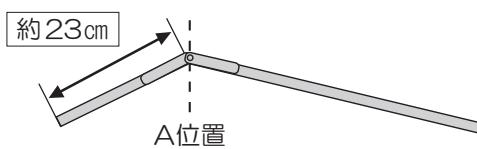
- ②「A位置」「B位置」のいずれかを選び、フィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます。
※フィッティングバーの屈曲位置を、右図の位置に合わせてください。



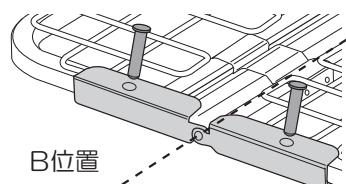
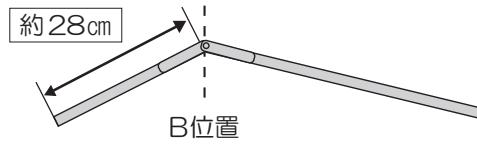
- ③それぞれ2箇所にピンを挿入します。
※初期設定は「A位置」に合わせています。



- ・A位置
適応身長目安
175cm未満の方



- ・B位置
適応身長目安
175cm以上の方



ポジショニングベッドのフィッティング

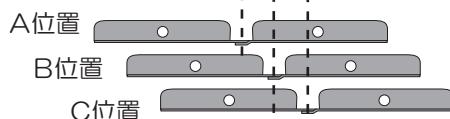
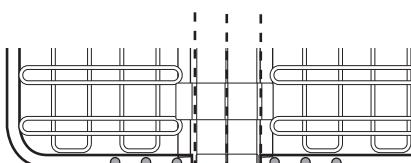
ポジショニングベッドでは、ひざ位置同様にハイバックサポートの屈曲位置を3段階に調節することができます。利用者の身長や症状に合わせて調節してください。

※初期設定は「B位置」に合わせています。



両側のピンが同じ位置に挿されているか確認してください。

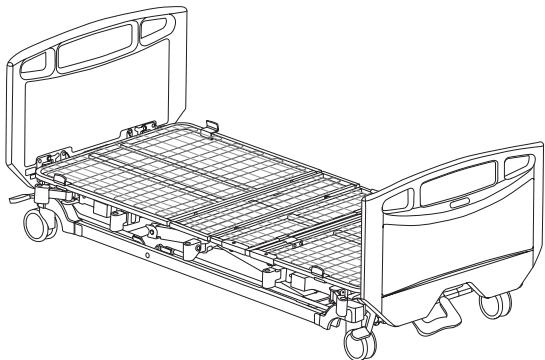
※フィッティングバーの屈曲位置を下図の位置に合わせてください。



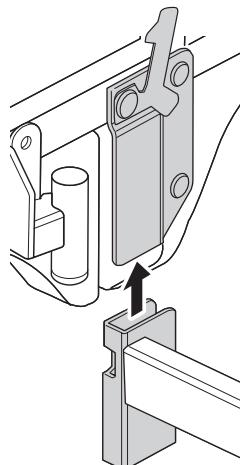
ベッドの分解方法

1

ボトムを水平状態に戻し、背、ひざ、昇降を一番下まで下げます。

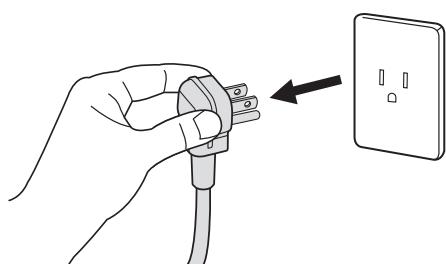


② センターフレームの取付金具から取り外します。

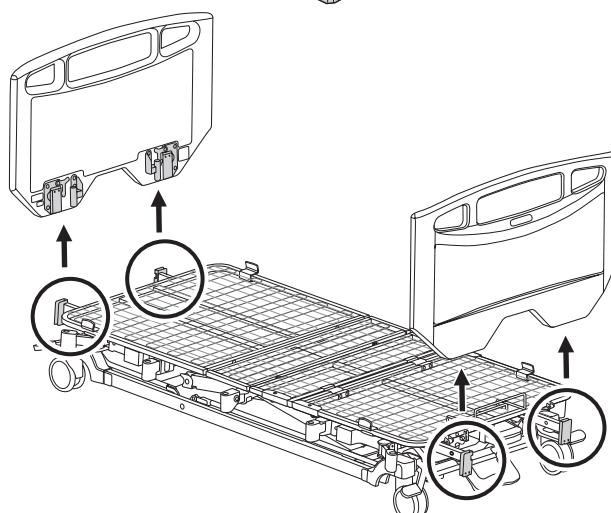


2

電源プラグを抜きます。



必ず電源プラグの樹脂部分をお持ちになり、コンセントから抜いてください。コードを引っ張ると、断線の原因になります。

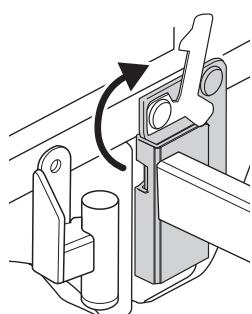


※移乗介助、頭部治療、上肢、下肢訓練などの際にも、ヘッドボード、フットボードを取り外して使用していただくことが可能です。

3

ヘッドボード、フットボードを本体から取り外します。

① ボード側の留め具をセンターフレームの取付金具から抜きます。

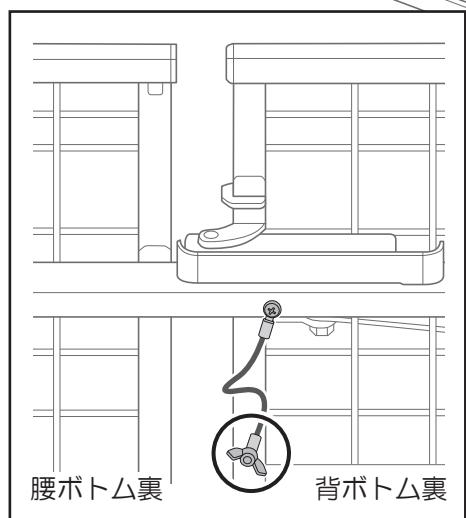
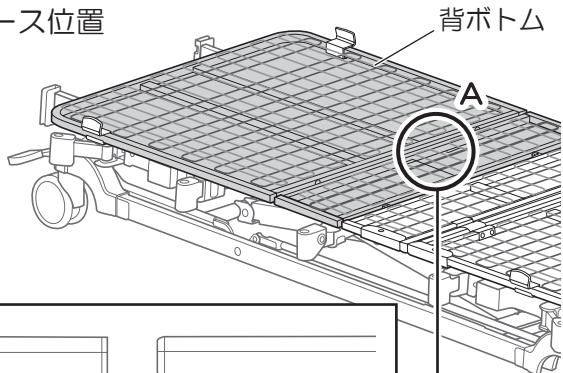


ベッドの分解方法

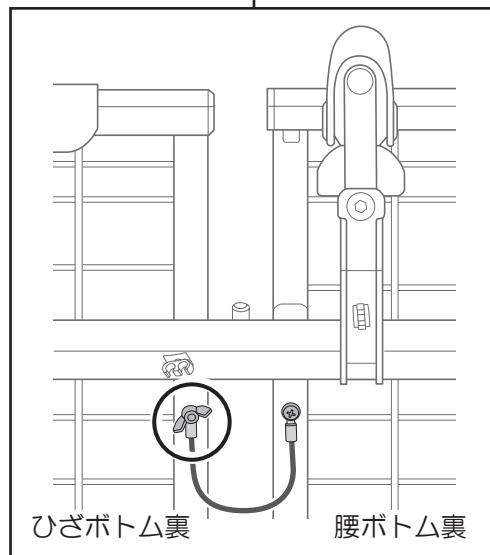
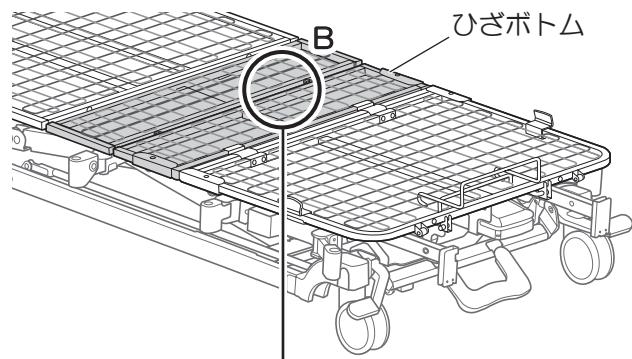
4

背ボトム、ひざ脚ボトムのアース線を取り外します。

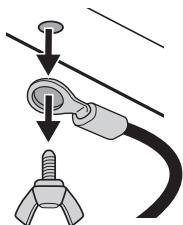
・アース位置



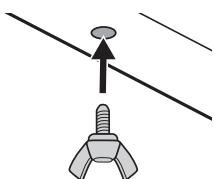
・アース位置



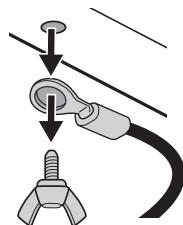
① ネジを外してアース線を取り外します。



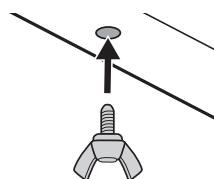
② ネジは、元の穴に取り付けてください。



① ネジを外してアース線を取り外します。



② ネジは、元の穴に取り付けてください。

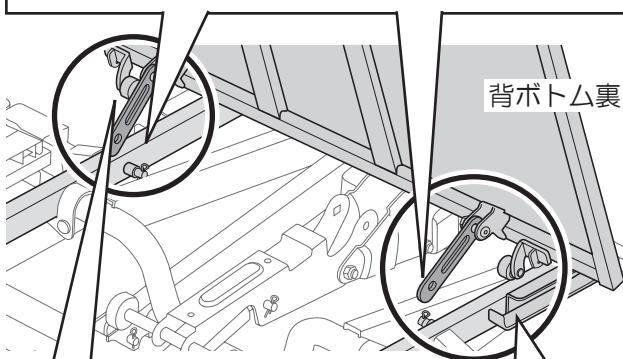


※3モーター・ポジショニングベッドのみ、背ボトム裏のハイバック用モーターコードの取り外しが必要です。

19~20ページの取り付けかたを参照に逆の手順でおこなってください。

5 背ボトムを取り外します。

- ① 曲げ割りピンを抜いて、ピンからバックオフバーを外します。外した曲げ割りピンは元の穴に挿し込んでください。

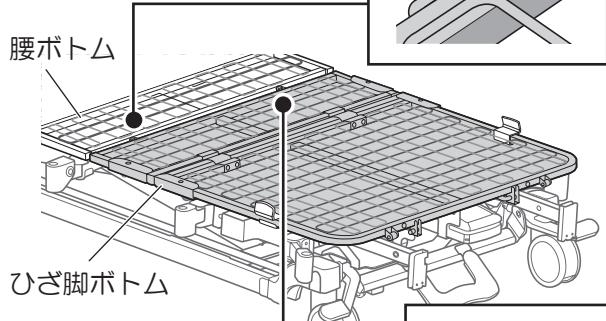
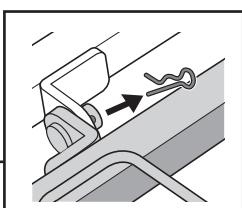


- ② 背ボトムのローラーをセンターフレームのローラーガイドから抜いてください。



6 センターフレームからひざ脚ボトムを取り外します。

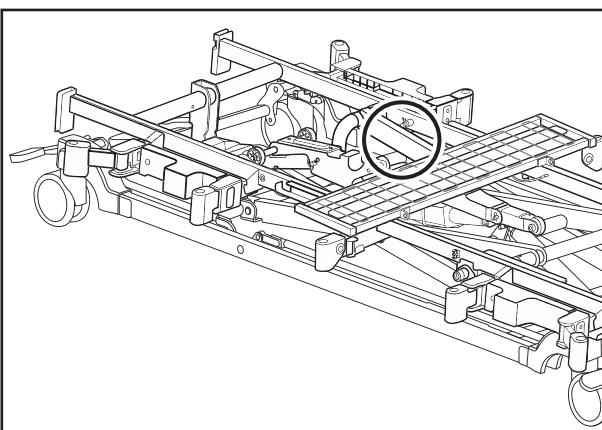
- ① 割りピンを取り外します。



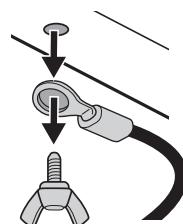
- ② 腰ボトムの穴からピンを取り外します。

- ③ ①で取り外したピンは元の穴に取り付けてください。

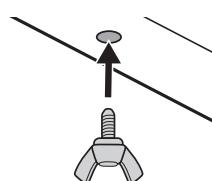
7 ベースフレームのアース線を取り外します。



- ① ネジを外してアース線を取り外します。

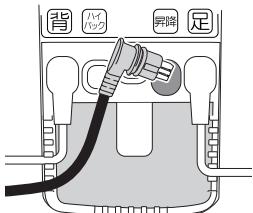


- ② ネジは、元の穴に取り付けてください。

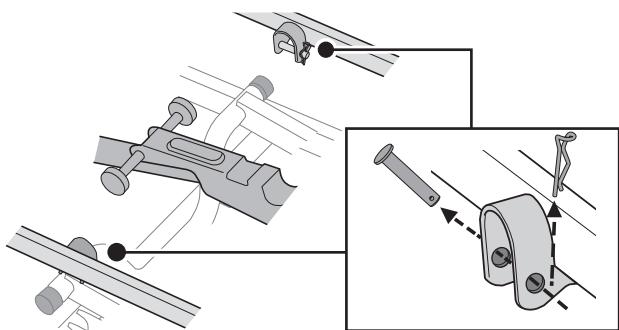


8 ベースフレームからセンターフレームを取り外します。

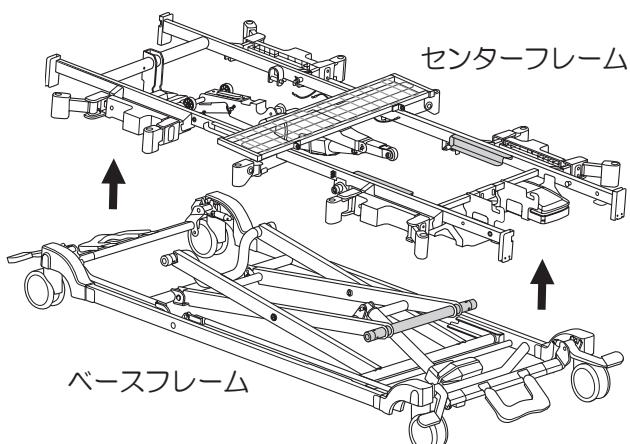
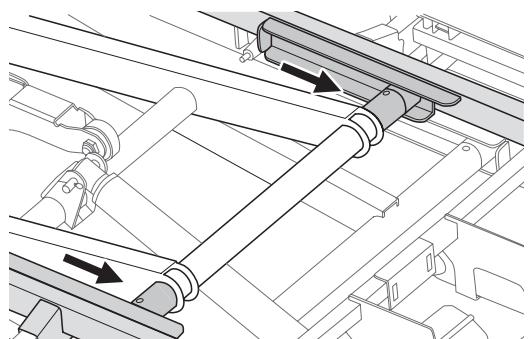
- ① 昇降モーターのプラグを電源部から取り外します。



- ② ピンと曲げ割りピンを取り外します。



- ③ センターフレームを持ち上げて、先端部分をスライドさせて取り外します。



- ④ ②で取り外したピンと曲げ割りピンは元の穴に取り付けてください。

器具のお手入れ・点検

1. 本体について

お手入れ

※お手入れの際は、必ず電源プラグとバッテリーケーブルを抜いておこなってください。

- 商品のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

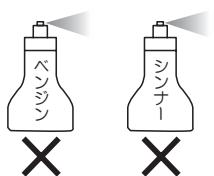
清拭する場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞って拭き、その後水に浸した布をよく絞って残った洗剤分を拭き取ってください。

最後に乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



- 商品を水で濡らしたり、ベンジン・シンナー・オイル類・粉末洗剤などを使用しないでください。故障・ひび割れ・サビや感電、火災の原因になり危険です。

- ベッドの下を掃除される際は電源プラグを抜いてください。



- ベッドを踏み台代わりに使用しないでください。

- ベッドの下は非常にホコリが溜まりやすくなっています。
こまめにお掃除してください。

- モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除してください。

またその時、モーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認ください。

- 電源プラグにホコリが溜まらないよう、こまめにお掃除してください。

- 消毒する場合は下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

・消毒用エタノール	76.9-81.4%	・塩化ベンゼトニウム	0.05-0.2%
・塩化ベンザルコニウム	0.05-0.2%	・グルコン酸クロルヘキシジン	0.05%
・次亜塩素酸ナトリウム	0.02-0.05%		

※別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。

点検

- 点検前に電源プラグを抜いてください。
- 各部分のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？
- モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？
- コード類にキズなどありませんか？
- 誤作動、異音がありませんか？
- キャスターや樹脂部品に亀裂や破損がありませんか？
- ベッドの走行に異常がありませんか？
- キャスターのロック / 解除に異常がありませんか？
- ボードがしっかりと取り付けられていますか？

2. 周辺機器について

- 各種周辺機器の取扱説明書の指示に従ってください。

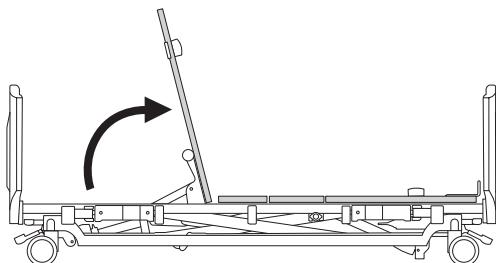
停電時の背下げる方法

※作業時は、必ず利用者はベッドから降りていただき作業をおこなってください。

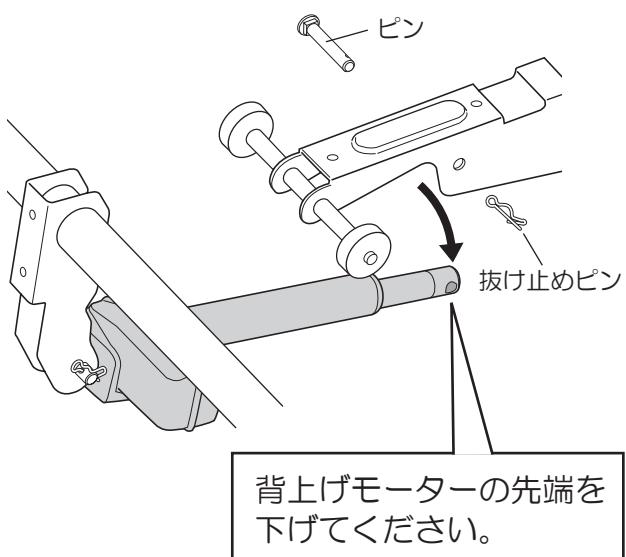
※電源プラグはコンセントから抜いてください。

※危険防止のため、作業は2人でおこなってください。

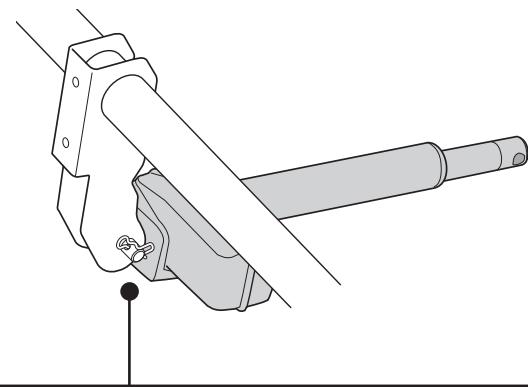
1 寝具をベッドから降ろし、作業は背ボトムを手で支えておこなってください。



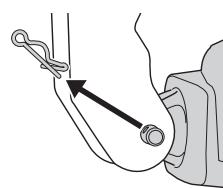
2 背上げモーター先端の抜け止めピンとピンを外してモーターの先端を下げるください。



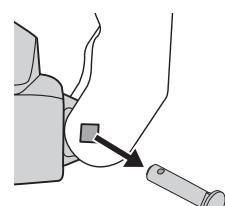
3 背上げモーター根元側のピンと抜け止めピンを外してください。



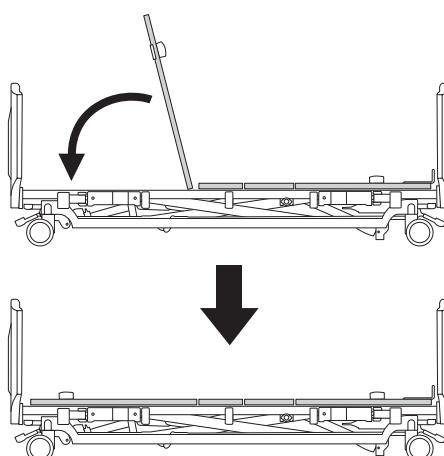
1. ピン先端の穴から抜け止めピンを抜きます。



2. ピンを抜きます。



4 背上げモーターをベッドフレームから外し、背ボトムを下ろします。



※電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。

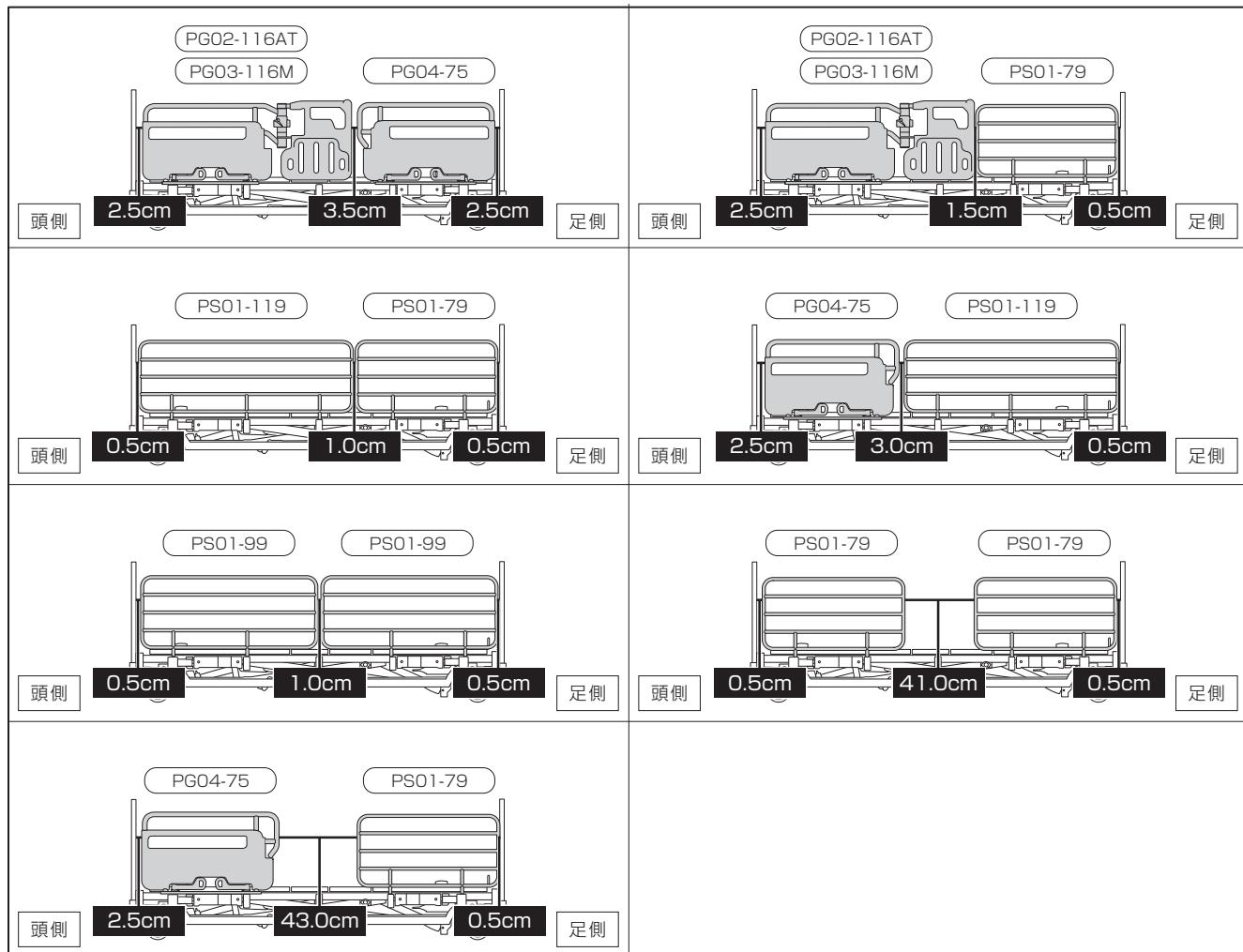
※外したピンは背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいてください。

レールの組み合わせ

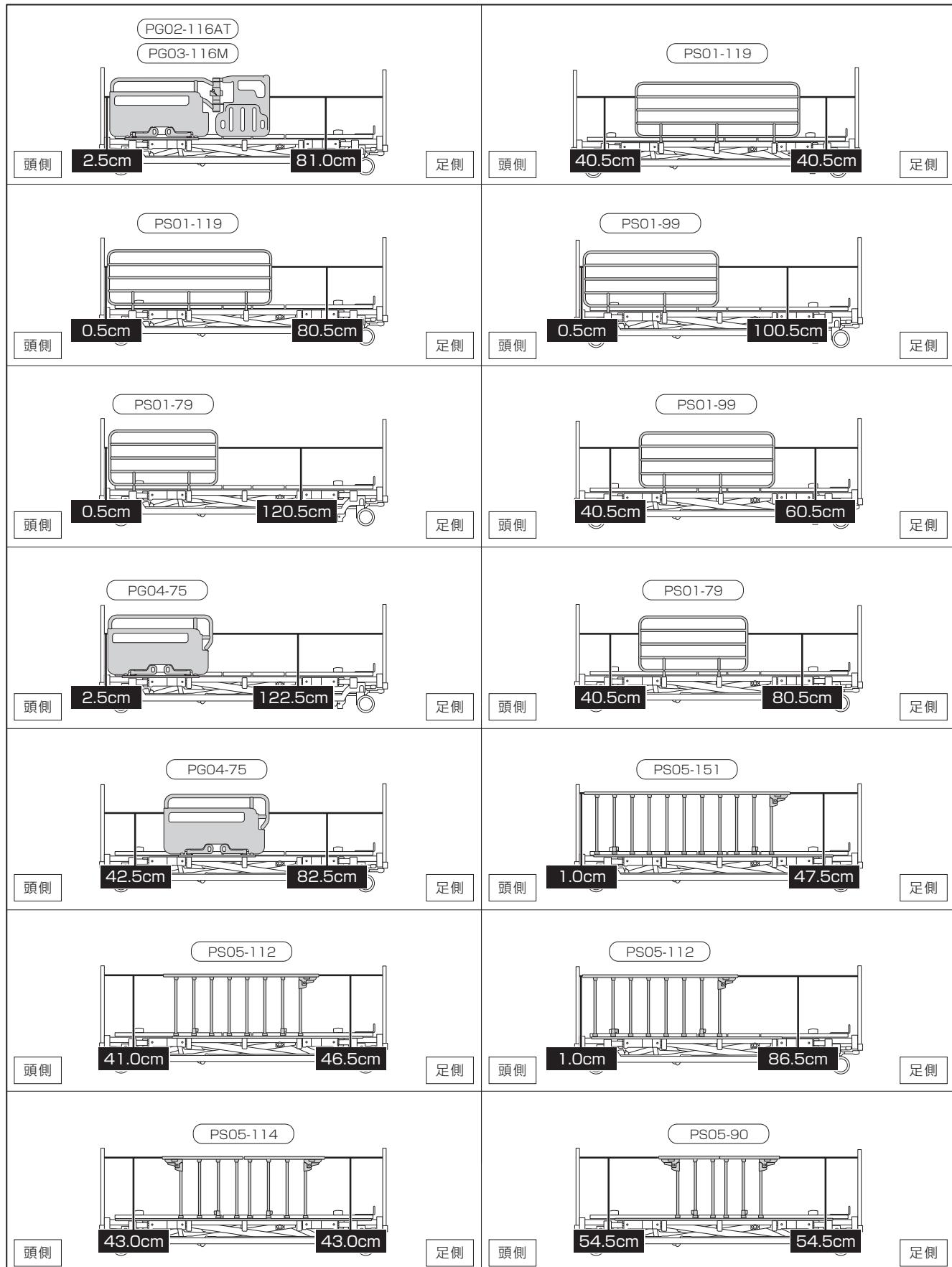
※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

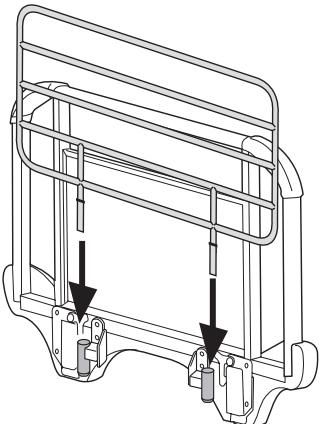
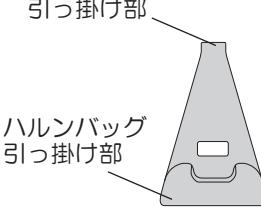
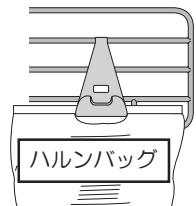
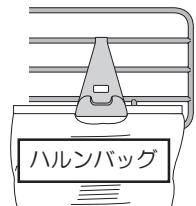
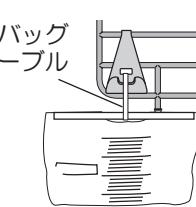
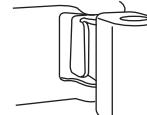
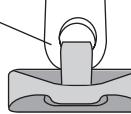
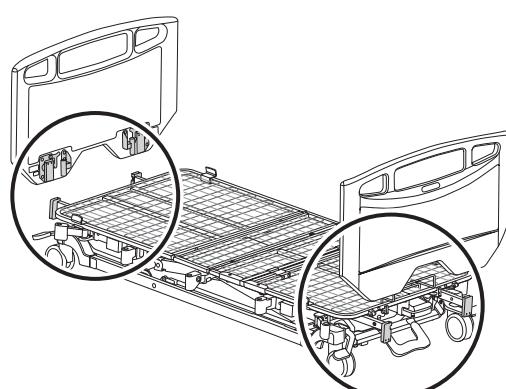
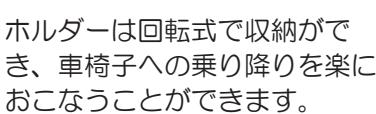
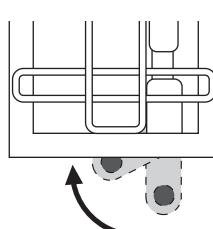
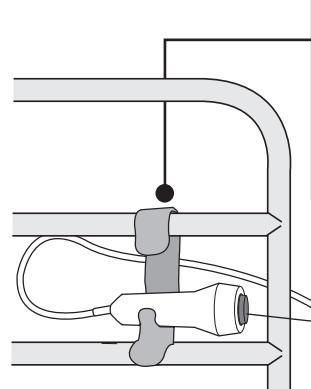
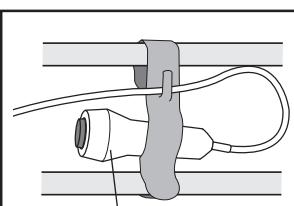
※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。



● サイドレール単体で使用される隙間



便利な使いかた

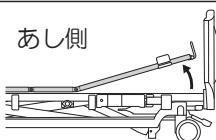
サイドレール収納ホルダー	ハレンバッグ用フック
<p>フットボードにサイドレール収納ホルダーがあります。サイドレールを使用しないときはサイドレールを挿して収納できます。</p>  <p>※あたま側は使用しないでください。 あたま側はサイドレールを挿して使用すると、背上げ時にサイドレールが倒れてくる可能性があります。 「あし側点滴棒取り付け穴」と「サイドレール収納ホルダー」は兼用です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>注意</p> <p>サイドレール収納ホルダーに挿したサイドレールに手をつかないでください。 転倒や怪我をする恐れがあります。</p> </div> <div style="text-align: center;">   <p>ハレンバッグ用フックはハレンバッグを取り付けるためのフックです。 サイドレールに取り付けて使用します。</p> </div> </div>	  <p>サイドレールを使用しない場合は、ホルダーにも取り付けることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホルダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハレンバッグ付属ケーブル</p> </div> </div>
点滴棒取り付け穴	収納式ホルダー
<p>あたま側・あし側左右各4箇所の点滴棒取り付け穴に点滴棒を取り付けることができます。 点滴棒を取り付けることにより点滴バッグなどを掛けることができます。</p>  <p>※「あし側点滴棒取り付け穴」と「サイドレール収納ホルダー」は兼用です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>注意</p> <p>点滴用のチューブなどをベッドの隙間などにはさまないように注意してください。 チューブなどが破損・変形する恐れがあります。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホルダーは回転式で収納ができる、車椅子への乗り降りを楽におこなうことができます。</p> </div> </div>	 <p>ナースコールホルダー</p> <p>ナースコールホルダーは、サイドレールに取り付けることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>ナースコール</p> </div> </div>

選べるつま先

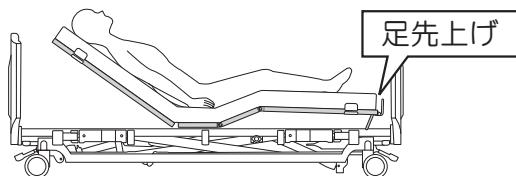
「つま先サポートバー」の位置で「足先上げ」「足先下げ」が選べます。

※作業時は、必ず利用者はベッドから降りていただき作業をおこなってください。

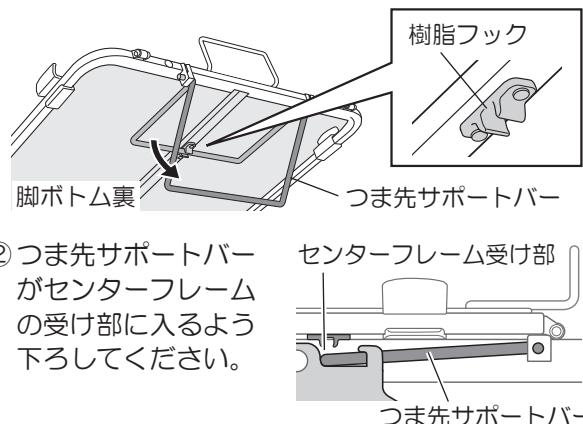
※寝具をベッドから降ろし、作業は脚ボトムを手で支えておこなってください。



「足先上げ」の設定

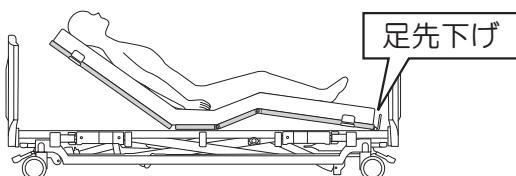


- ① 脚ボトムの裏から、つま先サポートバーを引っ張り、樹脂フックから取り外します。

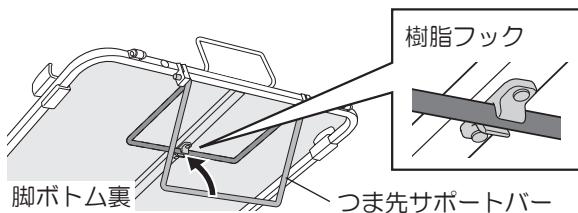


- ② つま先サポートバーがセンターフレームの受け部に入るよう下ろしてください。

「足先下げ」の設定



- ① つま先サポートバーを樹脂フックに取り付けます。

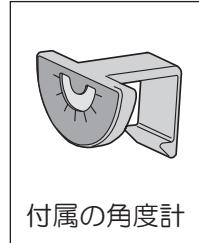


角度計の取り付け位置 ※標準手元スイッチのみ

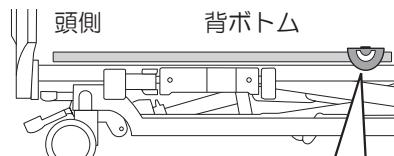
「3モーターベーシックベッド」には1個、

「3モーター定位ベッド」には2個の角度計を付属しています。

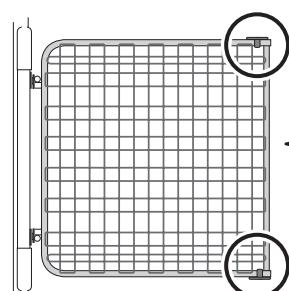
「3モーターベーシックベッド」の場合 (ハイバックサポート機能が無い背ボトム)



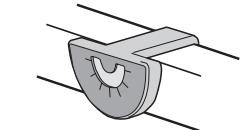
※それぞれベッドの左右どちら側にも取り付けることができます。
どちらか見やすいほうに取り付けてください。



付属の角度計



上図の向きで、見やすい位置に取り付けてください。



「3モーター定位ベッド」の場合 (ハイバックサポート機能がある背ボトム)

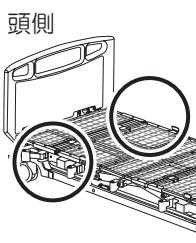
取り付けかた

① ポジショニングベッドの頭側フィッティングバー左右どちらかに、2個取り付けてください。

② フィッティングピンをよけてネットの間に取り付けてください。ハイバックサポート側に1個・背ボトム側に1個を取り付けてください。



付属の角度計



△ 確認

しっかり取り付けられているか確認してください。

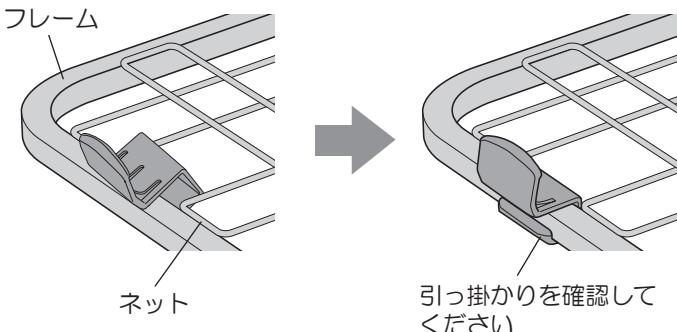
マットレスストッパーの取り付け・取り外しかた

マットレスストッパーの目的

本商品はベッドに乗り降りする際のマットレスの横ずれを防止する物です。

取り付けかた

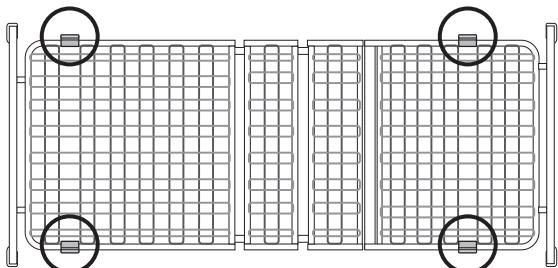
- ① ネットの間にマットレスストッパーを入れて、フレームに装着します。
- ② マットレスストッパーの奥まで、確実にフレームに取り付けてください。



・マットレスストッパーの取り付け位置

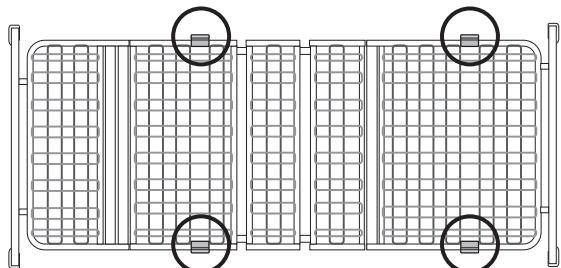
・3モーターベーシックベッド

あたま側



・3モーター・ポジショニングベッド

あたま側



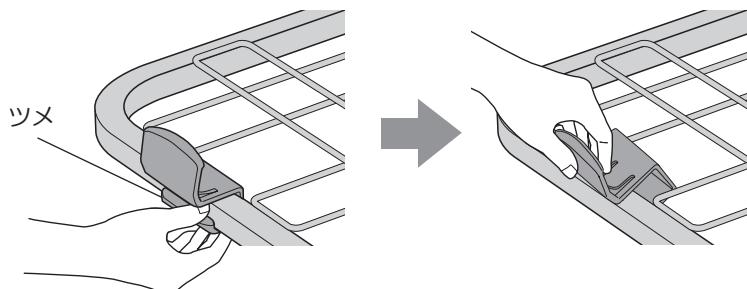
しっかり取り付けられているか確認してください。

※マットレスがすれないよう、ベッドの左右両側にマットレスストッパーを取り付けてください。

取り外しかた

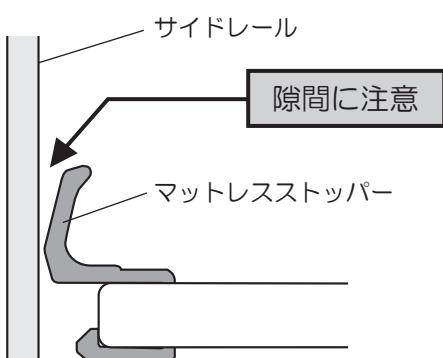
マットレスストッパーのツメを下に押しながら外します。

※ネットとの間に、指などをはさまないように注意してください。



警告

サイドレールやベッド用グリップの装着位置への取り付けは、ベッド操作時に本品とサイドレールやベッド用グリップの間の隙間が狭くなり指をはさむ恐れがあるため、ご注意ください。



故障かな？と思ったら

商品が動かないときは、下記項目を確認してください。

症 状	確認していただきたいこと	処 置
手元スイッチのボタンを押しても動かない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100V）に挿し込んでください。
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご連絡ください。
	手元スイッチまたはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチおよびモーターのコードを挿し込み口に挿し込んでください。
	手元スイッチの操作をロックしていませんか？	手元スイッチのロックを解除してください。（P30、36）
	音声が流れているときにボタンを押していませんか？	音声が流れている間はボタン操作ができません。音声が流れ終わるまで待ってから操作してください。
	液晶画面にエラーが表示されていますか？	P28「エラー表示」を確認の上、それぞれのエラーに対する処置をおこなってください。
	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。
背ボトム・ひざボトムが意図せぬ動作をする	—	胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するために、操作した部位と違う部位が自動で下がる場合があります。
ボードが外れない	ボード側の留め具がセンターフレームの取付金具に掛かっていませんか？	ボード側の留め具を取付金具から抜いてから、ボードを取り外してください。（P40）
ベッドの移動ができない	キャスターがロックされていますか？	キャスターのロックを解除してください。（P11）

保管について

●長期保管する場合

長期間ベッドをご使用にならない場合は下記にご注意ください。

- ・高温、多湿、低温、乾燥、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
- ・取扱説明書は大切に保管してください。

●組み立てた状態でベッドを保管する場合

- ・背ボトム、ひざボトムを水平にしてください。
- ・ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ・ベッドを壁に立て掛けたり横倒しにせず、床に水平に置いて保管してください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に保管してください。

●分解してベッドを保管する場合

- ・ベッドの分解は取扱説明書に従って分解してください。
- ・使用を再開する場合は、取扱説明書に従って正しく組み立ててください。

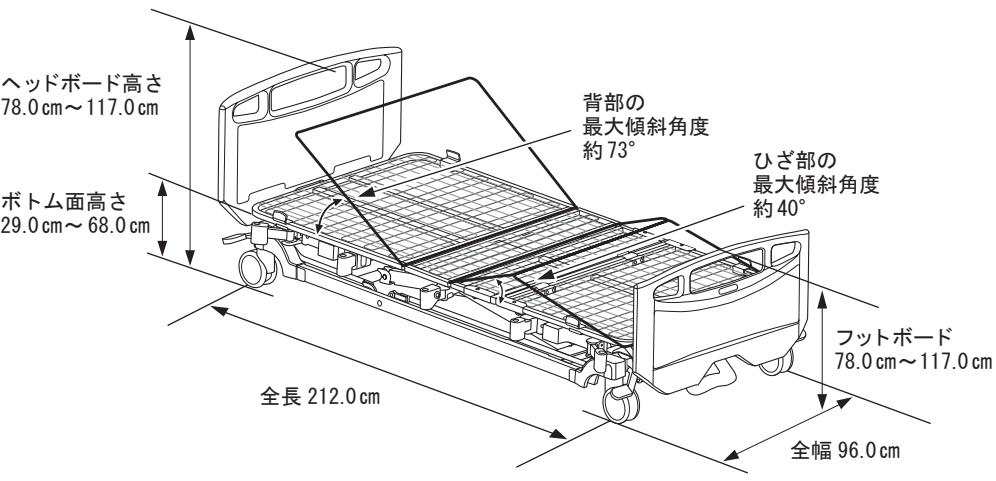
廃棄について

廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規則に従ってください。

適合周辺機器

サイドレール	PS01-79 / PS01-99 / PS01-119 / PS05-112 / PS05-151 / PS05-90 / PS05-114
延長フレーム	PP300-LF ※延長フレーム使用時には専用の延長マットレスを使用してください。
バッテリー	PE08-BA19 / PE10-BA19
ベッド用グリップ	PG02-116AT / PG03-116M
ハンドグリップ	PG04-75
マットレス	(レギュラータイプ) PD504-A8308 / PD503-A8308 / PM09-A8308 / PM11-A8309 / PM12-A8309 / PM14-A8308 / PM15-A8308 / PM18-A8312 / PM19-A8312 / PM21-A8310 / PM22-A8310 / PM23-A8308 / PM26-A8308 / PM27-A8308 / PM28-A8308 / PM29-A8308 (ロングタイプ) PM14-A8308L / PM15-A8308L もしくは下記サイズ、質量を満たす物 サイズ：(レギュラータイプ)：幅 83 cm × 長さ 191 cm （ロングタイプ）：幅 83 cm × 長さ 205 cm 厚さ：最大 18 cm 以下 最小 7 cm 以上 質量：20 kg 以下
延長マットレス (ロングタイプ用)	PM08-83A / PM08-83B / PM16-83L / PM20-L8311 ※延長マットレスに適合するレギュラーサイズのマットレスと組み合わせて使用してください。
テーブル	PT01-A1 / PT03 シリーズ / PT04 シリーズ

商品の仕様

型式	P302-3シリーズ		
商品名	3モーターベーシックベッド		
ベッド寸法			
商品質量	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースフレーム 42.0 kg ・センターフレーム (2/4) 32.5 kg ・背ボトム、ひざ脚ボトム (3/4) 15.0 kg ・木 ヘッドボード・フットボード (4/4) 18.0 kg ・スチール ヘッドボード・フットボード (4/4) 16.5 kg ・樹脂 ヘッドボード・フットボード (4/4) 13.0 kg ・整形外科用 ヘッドボード・フットボード (4/4) 16.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶手元スイッチ 0.5 kg ・標準手元スイッチ 0.5 kg 	
梱包サイズ 梱包質量	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包 (1/4) : 204.5 × 102.5 × 31.0 cm 52.0 kg ・梱包 (2/4) : 208.0 × 91.0 × 27.5 cm 40.5 kg ・梱包 (3/4) : 99.0 × 92.5 × 17.5 cm 19.0 kg ・梱包 (4/4) 木 ヘッドボード・フットボード : 99.0 × 65.5 × 20.0 cm 23.0 kg ・梱包 (4/4) スチール ヘッドボード・フットボード : 101.5 × 67.0 × 16.5 cm 20.5 kg ・梱包 (4/4) 樹脂 ヘッドボード・フットボード : 98.0 × 64.5 × 14.5 cm 15.5 kg ・梱包 (4/4) 整形外科用 ヘッドボード・フットボード : 101.5 × 67.0 × 16.5 cm 20.0 kg ・液晶手元スイッチ : 33.0 × 13.0 × 9.0 cm 0.5 kg ・標準手元スイッチ : 33.0 × 13.0 × 9.0 cm 0.5 kg 		
材質	<ul style="list-style-type: none"> ・本体ユニット：スチール、ABS樹脂 ・木製ボード：プリント紙化粧繊維板、天然木ウレタン樹脂塗装 ・樹脂製ボード：PE ・スチール製ボード：スチール、プリント紙化粧繊維板 ・整形外科用ボード：スチール 		
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降		
その他の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 ・サイドレール収納部を備えています ・センターロック仕様は、一度のペダル操作でキャスターの首振りと回転が4輪同時にロック / 解除ができます ・手元スイッチにロック機能付 ・ハレンバッグ用フック、ナースコールホルダー付 		
騒音試験結果	55dB (A)	定格電圧	AC100～240V、50/60Hz
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138 kg / 安全動作荷重：174 kg (1700N)
原産国	ベトナム		
耐用期間	8年【自社基準】 ※ただし、キャスターなどの消耗部品は除く		

型式	P302-7シリーズ		
商品名	3モーターポジショニングベッド		
ベッド寸法			
商品質量	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースフレーム 42.0 kg ・センターフレーム (2/4) 32.5 kg ・背ボトム、ひざ脚ボトム (3/4) 18.0 kg ・木 ヘッドボード・フットボード (4/4) 18.0 kg ・スチール ヘッドボード・フットボード (4/4) 16.5 kg ・樹脂 ヘッドボード・フットボード (4/4) 13.0 kg ・整形外科用 ヘッドボード・フットボード (4/4) 16.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶手元スイッチ 0.5 kg ・標準手元スイッチ 0.5 kg 	
梱包サイズ 梱包質量	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包 (1/4) : 204.5 × 102.5 × 31.0 cm 52.0 kg ・梱包 (2/4) : 208.0 × 91.0 × 27.5 cm 40.5 kg ・梱包 (3/4) : 99.0 × 92.5 × 17.5 cm 22.0 kg ・梱包 (4/4) 木 ヘッドボード・フットボード : 99.0 × 65.5 × 20.0 cm 23.0 kg ・梱包 (4/4) スチール ヘッドボード・フットボード : 101.5 × 67.0 × 16.5 cm 20.5 kg ・梱包 (4/4) 樹脂 ヘッドボード・フットボード : 98.0 × 64.5 × 14.5 cm 15.5 kg ・梱包 (4/4) 整形外科用 ヘッドボード・フットボード : 101.5 × 67.0 × 16.5 cm 20.0 kg ・液晶手元スイッチ : 33.0 × 13.0 × 9.0 cm 0.5 kg ・標準手元スイッチ : 33.0 × 13.0 × 9.0 cm 0.5 kg 		
材質	<ul style="list-style-type: none"> ・本体ユニット：スチール、ABS樹脂 ・木製ボード：プリント紙化粧繊維板、天然木ウレタン樹脂塗装 ・樹脂製ボード：PE ・スチール製ボード：スチール、プリント紙化粧繊維板 ・整形外科用ボード：スチール 		
電動機能	無段階自在式 背上げ、ひざ上げ、昇降、ハイバックサポート		
その他の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトムは通気性に優れたスチールメッシュ方式 ・サイドレール収納部を備えています ・センターロック仕様は、一度のペダル操作でキャスターの首振りと回転が4輪同時にロック / 解除ができます ・手元スイッチにロック機能付 ・ハレンバグ用フック、ナースコールホルダー付 		
騒音試験結果	55dB (A)	定格電圧	AC100 ~ 240V、50/60Hz
定格消費電力	150W	最大利用者体重	138 kg / 安全動作荷重：174 kg (1700N)
原産国	ベトナム		
耐用期間	8年【自社基準】 ※ただし、キャスターなどの消耗部品は除く		

保証とアフターサービス ※よくお読みください。

保証書について

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、型式・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げ時の送り状などを保管してください。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に、取扱説明書のP51「故障かな?と思ったら」の項目にしたがって確認してください。

それでも直らない場合は、お買い上げの販売店、またはフリーアクセスまでご連絡ください。

※修理・お取り扱い、お手入れのご相談は、お買い上げの販売店（「取扱説明書のご案内」記載）へご連絡ください。

●ご連絡いただきたい内容

※①～③は、「取扱説明書のご案内」に記載されています。

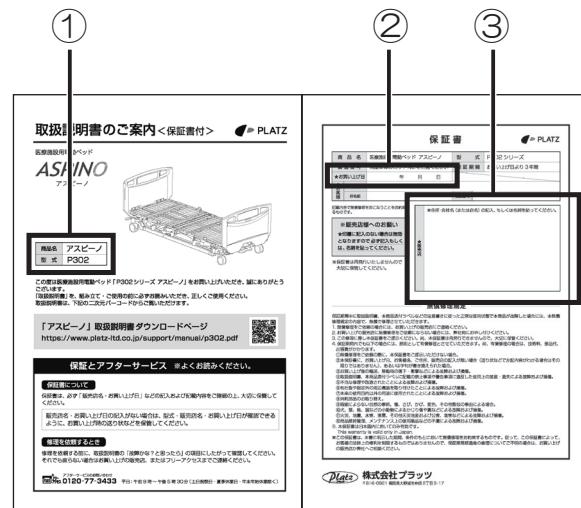
- ①商品名および型式
- ②お買い上げ日
- ③お買い上げの販売店
- ④商品のシリアル番号(S/Nで始まる番号)



※各パートに貼ってあるシールに記載されています。

- ⑤故障内容（できるだけ詳しく）

- ⑥ご住所 / お名前 / お電話番号



取扱説明書のご案内

●保証期間について

保証期間はお買い上げ日から3年間です。保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも有償修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください。

●保証期間を過ぎている場合

修理および部品交換にて対応可能であれば、有償にて修理いたします。

●修理代について

修理代は、部品料、基本出張費、技術料で構成されます。

【部品料】…修理で使用した部品代です。

【基本出張料】…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。

【技術料】…商品の診断・故障箇所の修理などの作業にかかる費用です。

フリーアクセス アフターサービスのお問い合わせ
0120-77-3433 平日 午前9時～午後5時（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

MEMO

MEMO

MEMO

株式会社 プラッツ

〒816-0921 福岡県大野城市仲畑 2丁目 3-17

'25.5月作成

NPO258-D